令和4年度 事業報告書



社会福祉法人 正受会特別養護老人ホーム 平安荘 短期入所生活介護 平安荘 ディサービスセンター 平安荘 居宅介護支援事業所山 田 中 央 保 育 園

令和4年度 社会福祉法人正受会 事業報告書

沿革

社会福祉法人正受会は、昭和 48 年 6 月社会福祉法人設立認可を受け、特別養護老人ホーム平安荘の建設に着手、翌昭和 49 年 3 月に完成、6 月 1 日から定員 50 名で事業を開始いたしました。

山田町船越の長林地区に位置し、海の十和田湖ともいわれる山田湾を眼下に望み自然環境豊かな所にありました。

当時、特別養護老人ホーム数は県内5箇所にすぎず、さらに平安荘は沿岸部では最初の民間施設であり、まもなく満床となり地域社会の要望に答えるべく昭和51年5月に増築し、定員を100名に増員するとともにショートステイも開設いたしました。

昭和54年4月には、世代間交流を目的として山田中央保育園を山田町長崎地区に建設し、定員60名で事業を開始いたしました。

平成 6 年 12 月、平安荘のショートステイ利用者の増加に対応すべく専用居室を 10 床に増床いたしました。

平成7年4月、デイサービスセンター(B型)を建設、利用定員20名で事業を開始いたしました。

平成 12 年 4 月、介護保険法の施行に伴い、保育園を除く各事業所は介護保険施設と して指定を受け、居宅介護支援事業所を新設し事業活動を行ってまいりました。

平成 19 年 3 月、創設 33 年を経過して平安荘老朽化のため、ユニット型特別養護老人ホーム(全室個室)を閑静な関谷地区(現在地)に移転新築いたしました。

令和 2 年 12 月、平安荘デイサービスセンターを母体である平安荘に移転併設いたしました。

これからも、地域福祉の推進及び中核施設としての使命と役割を果たしてまいりたいと存じます。

(平成 23 年 2 月 井上 義一 初代理事長退任)

(平成23年4月 井上 妙子 理事長就任)

(令和2年7月 井上 妙子 理事長退任)

(令和2年7月 井上 千里 理事長就任)

概要

社会福祉法人正受会設立認可 昭和 48 年 6 月 初代理事長 井上 義一 昭和 49 年 6 月 特別養護老人ホーム平安荘開設 事業開始(定員50名) 特別養護老人ホーム平安荘増築 定員変更(定員 100 名) 昭和 51 年 5 月 ショートステイ事業開始(定員2名) 昭和 54 年 4 月 山田中央保育園開設 事業開始(定員60名) 平成 6 年 12 月 ショートステイ増床(定員 10 名) 平成7年4月 平安荘デイサービスセンター開設 事業開始(定員 20 名) 平成 12 年 4 月 介護保険法の施行に伴い、保育園を除く各施設は介護保険施設として 事業開始 平安荘指定居宅介護支援事業所開設 事業開始 平成 19 年 3 月 特別養護老人ホーム平安荘(ユニット型) 新築移転 平成 23 年 4 月 初代理事長退任により 井上 妙子 理事長就任 平成 26 年 11 月 平安荘デイサービスセンター 定員変更(定員 25 名) 平成 29 年 12 月 平安荘指定居宅介護支援事業所 一時休止 平成 30 年 11 月 特別養護老人ホーム平安荘 定員変更(定員 90 名) 令和 2 年 4 月 平安荘指定居宅介護支援事業所 運営再開 山田中央保育園 定員変更(定員 55 名) 井上 妙子 理事長退任により 井上 千里 理事長就任 令和2年7月 令和 2 年 12 月 平安荘デイサービスセンター 移転併設 平安荘デイサービスセンター 定員変更(定員 20 名) 令和 4 年 3 月 特別養護老人ホーム平安荘 定員変更(定員80名)

山田中央保育園 定員変更(定員 50 名)

令和 4 年 4 月

令和4年度 社会福祉法人正受会 事業報告書

基本理念

多様な福祉サービスが、その利用者の意向を尊重して総合的に提供されるよう創意工 夫することにより、利用者が個人の尊厳を保持しつつ心身共に健やかに育成され、その 有する能力に応じ自立した日常生活を地域社会において営むことができるよう支援する ことを目的として、法人名でもある「正受」を体現できるよう努める。

基本方針

≪法令遵守≫

法令(規程及びマニュアル等も含む)遵守を基本として、老人福祉法、介護保険法及 び児童福祉法に規定されている基本理念の達成に力を注ぐ。

≪地域福祉の推進≫

社会福祉事業の主たる担い手として相応しい事業を確実・効果的・適正に行うため自主的にガバナンスの強化を図り、地域福祉の推進に努める。

≪地域福祉への貢献≫

地域の多様な福祉ニーズに応えるべく、サービスの質の向上及びその提供の充実を目指して社会福祉法人の公益性をより一層発揮し、広く社会福祉に寄与する。

≪事業運営の透明性の確保≫

法人本部において、事業計画書・事業報告書・財産目録・貸借対照表・収支計算書を 事務所カウンターに備え置くとともに、広報誌(年4回発行)及びインターネットを活 用して広く公表する。

事業報告

1. 事業の方 針

主な方針	内 容
地域における福祉活動	山田町役場、山田町社会福祉協議会、福祉関連事業所 及び地域包括支援センター等と連携をはかると共に積極 的に会議及び研修等に参加するなどの情報交換に努め、 地域に根ざした福祉活動を目指す。
地域活動の活性化	地域に開かれた福祉施設として地域団体等と連携を図 り施設内見学・ボランティア活動等を積極的に受け入れ るなど地域住民との交流を深めていく。
苦情への対応	苦情が生じた際には各担当者を中心に速やかに対応し 個人情報保護に努め、利用者とご家族の信頼を損なうこ とのないよう適切に対処する。

2. 施設及び支援事業の運営

事業名 (施設名)	主な運営内容
介護老人福祉施設事業 (特別養護老人ホーム平安荘)	施設を生活の場とし、安心して明るく充実 した余生を送られるよう支援する。
短期入所生活介護事業 介護予防短期入所生活介護事業 (特別養護老人ホーム平安荘)	利用者の自律的な日常生活の支援と、心身 機能の維持並びに家族の身体的・精神的負担 の軽減を図る。
通所介護事業 介護予防日常生活支援総合事業 (平安荘デイサービスセンター)	住み慣れた家や地域に住み続けたいという 希望に応え、心身機能の向上及び社会的孤立 感の解消を図りながら、自立した在宅生活を 送られるよう支援すると共に、ご家族の身体 的及び精神的な負担の軽減に努める。
居宅介護支援事業 (平安荘指定居宅介護支援事業所)	介護保険法の趣旨に従い、要支援者及び要 介護者の心身の状況に応じた適切な支援を提 供する。
保育事業 (山田中央保育園)	児童福祉法に基づき、子どもの最善の利益 を守り、地域における家庭援助を行い、保護 者と共にその福祉を積極的に推進していく。

3. 利用者負担軽減制度事業の継続

※ 社会福祉法人の社会的な役割に鑑み、利用者とそのご家族の負担をできるだけ軽減できるよう負担軽減制度事業を継続して行うとともに利用の促進を図った。

4. 山田町配食サービス事業への協力

※ 令和4年11月1日より、山田町の配食サービス事業に協力しており、毎週月曜日から木曜日の週4回1個500円の弁当を提供している。すべて手作りで1日平均15食 提供している。食材費・容器代・人件費・光熱費等含めると上記の価格では不足が生じるが、その分を平安荘より補って提供し地域福祉に貢献できるよう図っている。

5. 利用者の快適な生活環境・職員の働きやすい職場の環境づくり

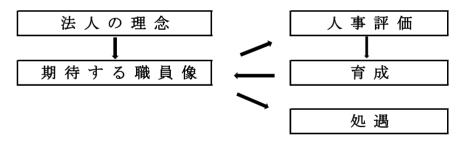
(1) ブランケット及び日用品を全利用者に統一した品物で揃えて提供するなどのアメニティの整備に取り組み、利用者が快適に過ごせる環境づくりを図った。

- (2)業務の効率化を図るため、「整理・整頓・清潔」を常に心がけるよう努め、無駄なものを省くことで必要なものが取り出しやすく、準備時間の短縮に繋がった。
- (3)職員の休憩場所の整備を行い、1・2階フロアーの談話コーナーやデッキを短時間 の休憩場所とし、2階フロアー休憩場所の一部は携帯電話の使用可としたことで職員 が有効利用できている。
- (4) 花壇を作り多種類の花やハーブ類を植えて季節感を醸し出し、施設外回りの景観が映えるよう草刈りや木々の手入れを定期的に行うなど、利用者に散歩及び居室内窓からの四季折々の景色を楽しんでいただけるよう整備に努めた。

6. 人材の確保・育成

- (1) 新規学卒予定者等への求人活動を積極的に行ったことで、介護職3名、管理栄養士 1名が平安荘に入社し、それぞれスーパーバイザーが寄り添って育成を図っている。
- (2) 法人が求める人材を明確化しその院内研修を充実させ、専門的技術の習得・向上を 目指した法人のキャリアパス支援を実施したことで、各施設各部門の職員が専門職と しての自覚を深めてきている。

キャリアパス支援の流れ



- (3) 利用者の人権擁護を徹底するため、法人の行動指針に沿った福祉の担い手としての 「倫理観」をもてるよう定期的に研修を行うことで、利用者に深い敬愛の心をもって 接することが自然にできるようになってきている。
- (4) 対人関係を円滑に進めるため、「接遇」や「マナー」についての研修を定期的に設けてコミュニケーション能力を高めてきたので、職員間の対立が無くなってきている。

7. 福利厚生

- (1) 岩手県社会福祉協議会の職員共済事業、独立行政法人福祉医療機構の社会福祉施設 職員等退職手当共済制度への加入を継続して行っている。
- (2) 職員の心身の健康維持・管理を図るため、健康診断及びレントゲン検査等を継続して実施した。
- (3) 職員へのインフルエンザ予防接種を実施した。

- (4) 菓子類、インスタントスープ・珈琲・紅茶等を各施設休憩室に常備しておき、自由 に気分転換できるよう図っている。
- (5) 行事及び催しもの時には職員も一緒に楽しめるよう、弁当・飲み物・おやつ類を提供している。クリスマスには全職員に1個ずつケーキを手渡している。

8. 防災訓練の実施

- (1)各施設ごと、各々の防災計画に基づき、山田消防署の協力を得て年2回の実地総合 訓練と定期的(月1回)に通報・消火・避難誘導の訓練を行った。
- (2) あらゆる災害を想定して避難誘導及び図上訓練を行いながら、職員の防災意識の高揚を図った。
- (3) 各施設、非常災害に備え、チェックシートを用いて生活用品・飲食料等のチェックを行い、備蓄及び管理を怠らないよう努めた。

9. 感染症予防対策の徹底

- (1) 新型コロナウイルス感染症については、社会の動向に沿った対策を随時検討しながら対策マニュアルを作成し、職員はもとより利用者、ご家族、関係機関との連携を図りながら情報収集に努め、できるだけ感染拡大を防ぐよう取り組んだ。
- (2) その他の感染症については、これまで通りのマニュアルを随時検討しながら実施した。コロナ感染防止対策の徹底により、他の感染症も感染防止に至った。

10. 施設・設備整備

※ 業務の効率改善及び利用者の安全確保のため、下記の施設の改善工事等を行った。

主な工事等	目 的
特別養護老人ホーム平安荘で、各ユ ニット内エアコン設備の修理工事。	利用者の住環境の整備を図る。
山田中央保育園の門扉・柱等のペンキ 塗替、温水器取替工事。	園舎建て替えの前段階準備を行ってきたが、コロナ禍のため建て替え時期等の目処が立たないことから、老朽化した設備の補 修及び改善を行うことで安全性の維持確保 及び景観の整備を図る。

11. 職員の処遇改善

- (1) 非正規職員の正職員への転換の促進や、60歳定年の見直しなど、社会保険労務士の指導のもと「働き方改革」を推し進めてきた。
- (2)業務負担軽減及びサービスの質の向上のため、随時、職員の増員を図っている。
- (3) 全職員を対象に、年2回の一時金支給(社会福祉充実計画)を継続して行った。
- (4) 職員からの苦情・相談は専用窓口を介して随時受付け、面接・対話で解決している。

12. 令和4年度 評議員会・理事会等の開催内容

令和4年5月20日 第1回理事会

- (1) 令和3年度社会福祉法人正受会及び施設(特別養護老人ホーム平安荘・平安荘短期 入所生活介護・平安荘デイサービスセンター・平安荘指定居宅介護支援事業所・山田 中央保育園)の事業報告(案)について
- 議(2) 令和3年度社会福祉法人正受会(法人本部拠点)及び施設(特別養護老人ホーム平案 安荘拠点・山田中央保育園拠点)の資金収支決算の承認及び監事監査の報告について
 - (3) 理事の選任について
 - (4) 第三者委員の選任について
 - (5) 令和4年度第1回評議員会の開催について
- 湯|(1) 理事長の職務執行状況の報告
 - |(2)||令和3年度社会福祉充実残額の算定結果について

令和4年6月4日 第1回評議員会

(1) 令和3年度社会福祉法人正受会(法人本部拠点)及び施設(特別養護老人ホーム平 安荘拠点・山田中央保育園拠点)の資金収支決算の承認及び監事監査の報告について

(2) 理事の選任について

(1) 令和3年度社会福祉法人正受会及び施設(特別養護老人ホーム平安荘・平安荘短期 入所生活介護・平安荘デイサービスセンター・平安荘指定居宅介護支援事業所・山田 中央保育園)の事業報告(案)について

- (2) 第三者委員の選任について
- (3) 令和3年度社会福祉充実残額の算定結果について

令和4年6月4日 第2回理事会

| (1) 理事長の互選について

令和5年2月24日 第3回理事会

|(1)||令和4年度社会福祉法人指導監査の結果及び是正改善報告について

(1) 理事長の職務執行状況の報告

- (2) 令和4年度介護保険施設等の運営指導の結果について
- (3) 令和4年度保育所指導監査の結果について

令和5年3月25日 第4回理事会

- (1) 令和4年度社会福祉法人正受会(法人本部拠点)及び施設(特別養護老人ホーム平 安荘拠点・山田中央保育園拠点)の第一次資金収支補正予算(案)について
- (2) 積立金の目的の変更について

(3) 令和5年度法人及び施設(特別養護老人ホーム平安荘・平安荘短期入所生活介護・ 平安荘デイサービスセンター・平安荘指定居宅介護支援事業所・山田中央保育園)の 案 事業計画 (案) について

- (4) 令和5年度社会福祉法人正受会(法人本部拠点)及び施設(特別養護老人ホーム平 安荘拠点・山田中央保育園拠点)の資金収支予算(案)について
- (5) 社会福祉法人正受会経理規程の一部変更について
- (6) 令和4年度第2回評議員会の開催について

令和5年3月25日 第2回評議員会

(1) 令和4年度社会福祉法人正受会(法人本部拠点)及び施設(特別養護老人ホーム平 安荘拠点・山田中央保育園拠点)の第一次資金収支補正予算(案)について

- (2) 令和5年度法人及び施設(特別養護老人ホーム平安荘・平安荘短期入所生活介護・ 平安荘デイサービスセンター・平安荘指定居宅介護支援事業所・山田中央保育園)の 事業計画(案)について
- (3) 令和5年度社会福祉法人正受会(法人本部拠点)及び施設(特別養護老人ホーム平 安荘拠点・山田中央保育園拠点)の資金収支予算(案)について

13. 監事監査の実施状況

実 施 日	内 容
令和5年 5月26日(金)	令和4年度 決算監査

14. 施設等実地指導の実施状況

実 施 日	内 容
令和4年10月12日(水)	令和4年度社会福祉法人指導監査(社会福祉法人正受会)
令和4年11月9日(水)	令和4年度保育所施設指導監査(山田中央保育園)
令和4年11月10日(木)	令和4年度介護保険施設等の運営指導(特別養護老人ホーム平安荘)

令和4年度 特別養護老人ホーム平安荘 事業報告書

令和4年度 特別養護老人ホーム平安荘 事業報告書

【事業目的】

特別養護老人ホーム平安荘は、介護保険法に従い、ご契約者(利用者)が、その有する能力に応じ可能な限り自立した日常生活を営むことができるように支援することを目的として、ご契約者に、日常生活を営むために必要な居室及び共用施設等をご利用いただき、介護福祉施設サービスを提供する。

【運営方針】

利用者一人ひとりの意思及び、人格を尊重し、共同生活室ごとに施設サービス計画に基づき、その居宅における生活への復帰を念頭において、入所前の居宅における生活と、入所後の生活が連続したものとなるよう配慮しながら、各ユニットにおいて利用者が相互に社会関係を築き、自律的な日常生活を営むことができるよう支援することを目指す。また、地域や家庭との結びつきを重視し、関係する市町村や介護保険サービス提供者等と密接な連携を図るものとする。

事業報告

1. 施設の運営

今年度より、入所定員80床(8ユニット)で運営。

2. 利用者の確保

(1) 入所待機者の確保

入所申込希望者及びそのご家族に対しては、入所に伴う相談に応じながら施設での生活の理解を深めた。また、県内の関係機関や医療機関等との情報交換を行ながら入所待機者の確保に努めた。

(2)入所申込者の入所に関する検討

原則要介護3以上の申込者の中から入所検討を行っている。要介護1又は2の方の特例入所の対象となる方の相談はなかったが、対象者が出た時には行政や包括支援センター等と状況の確認、優先事項等について話し合い適切に対応していく。

3. 職場の人材確保及び職員の育成

(1) 人材の確保

ハローワークや人材紹介サービス等を活用、学校への求人案内を積極的に行い、今年度 は、新卒者4名(介護職員3名、管理栄養士1名)が入職している。

(2) 人事評価導入による職員育成

職員の育成は、PDCAサイクルでの指導方式で実践し、職員各人に目指すべき姿 (役割や取り組み)を方向づけ、行動評価を行いながら、施設職員としての期待像に向け た育成を図っている。

(3) キャリアパス支援

コロナ状況により施設外研修への参加はできなかったが、施設内での研修により知識 や能力及び技術向上に努めている。資格取得希望者には、取得に専念できるよう援助し、 今年度は1名が介護福祉士の資格を取得している。

4. 利用者の支援

(1) 相談・苦情

利用者及びそのご家族から利用に関する相談・苦情があった際には迅速かつ適切な対応で応じ、信頼関係の構築を図っている。また、コロナ禍の状況下により面会ができない期間が長く、ご家族には利用者の様子について来荘時の報告や電話連絡での対応で密な情報共有を図っている。

(2) 施設サービス支援

利用者がその能力に応じて自立した日常生活が送れるよう定期的にサービス担当者会議を開催し、利用者及びそのご家族の意向に沿った施設サービス計画書し支援している。

(3) 介護

食事、入浴、排泄といった日常生活に必要な介護や個別援助計画に基づき、その利用者の生活リズムや個性を重視した支援の実施及びリハビリ体操、レクリエーションサークル、脳トレ活動等を実施し、心身の活性化や身体機能低下予防を図っている。

(4) 看護・リハビリ

利用者に対し日頃の保健衛生や健康管理を行うと共に年2回(5月、10月)の定期健康診断、年1回(8月)の結核検診胸部レントゲン撮影、インフルエンザ予防接種を計画通り実施している。新型コロナウィルス予防接種については、山田町、嘱託医と連携し実施(4回目:8月22,23日)している。また嘱託医と連携した必要時の通院・入退院時の支援、年間通して感染症に対する早期予防対応を実施している。リハビリについては、うみねこ針灸接骨院に週2回委託し、ADL維持や関節拘縮予防を目的とした専門的なリハビリを実施している。

(5) 給食

管理栄養士の栄養ケアマネジメントに基づき、重度化に伴う献立の対応や治療食の提供等総合的な援助を行いながら、四季折々の旬の食材を活かした給食を提供し季節感のある食事ができるように努めている。また今年度は、11月より山田町配食サービス事業への手作り弁当の提供を開始し、地域福祉への貢献を図っている。

(6) リスクマネジメント・身体拘束

今年度の事故件数は2件あり、その内、病院受診が必要な外傷事故が1件あり、関係機関へ速やかに状況報告し、再発防止対策の徹底を図っている。

身体拘束者は年度始めには3名であったが、拘束時間短縮や段階的に拘束解除に向けた取り組みを実施し、年度末には2名となっている。

5. 行事·地域交流

コロナ状況の制限緩和もあり、9月に山田祭りにおける慰問の受け入れを行い、地域 交流を図ることができている。施設内では季節折々の行事を計画し、利用者間の交流や 併設施設のデイサービス利用者との交流を多く持つことができている。

6. 情報公開

ユニット型介護老人福祉施設としての事業運営や概要を知っていただけるよう介護保険法による「介護サービス情報の公表制度」等の活用や施設内でも常に閲覧できるようにしている。

7. 職員の健康管理

職員に対し全職員対象の健康診断(3月1日)、夜勤従事者の健康診断(9月22日)、インフルエンザ予防接種、新型コロナウィルス予防接種(4回目:8月22,23日)励行等を実施し、職員の健康管理及び把握に努めている。

8. 感染症予防・対策

11月に新型コロナウィルスの施設内感染があったが、関係機関と連携した感染症対策を実施し、感染拡大を防ぎ、短期間で終息している。その他感染症については年間を通じ感染症予防に努め、感染症流行時期の発熱時等で感染症対策を実施している。

9. 防災訓練計画

毎月1回各種別の訓練を行い防災意識の高揚を図っている。年2回(6月14日、10月31日)の総合防災訓練及び夜間想定マニュアル訓練(12月6日)実施時には報告書等で所 轄消防署へ内容報告し連携を図っている。

10. 施設管理

(1) 環境整備

各部門で「整理・整頓・清潔」を徹底した業務の効率化を図っている。また、法人と 連携し、利用者が住み心地のよさを感じる環境づくり、職員が業務とのオン・オフを切 り替えることができる職場づくり等の環境整備に努めている。

(2) 適正な業務の推進

財務・経理・給与・労務管理・介護給付費の算定等適正な処理に努めている。

(3) 書類の整備

法律に沿った諸記録の作成等、適正な書類整備を行っている。

(4) 備品管理

円滑な業務推進を図るため、備品の管理に努めている。

-	NO. 1
月日	実行委員会・・職員会議・等
4 月	
6, 8, 11 日	ケアカンファレンス
14~16 日	ケアカンファレンス
22 日	リスクマネジメント委員会、身体拘束廃止委員会
25 日	職員会議・実行委員会、衛生委員会、感染症予防対策委員会
5 月	
5~ 6 日	ケアカンファレンス
9 日	ケアカンファレンス
11~13 日	ケアカンファレンス
18~20 日	ケアカンファレンス
23 日	ケアカンファレンス
25 日	職員会議・実行委員会、衛生委員会、感染症予防対策委員会
31 日	リスクマネジメント委員会、身体拘束廃止委員会
6 月	
3,6 日	ケアカンファレンス
8~10 日	
13, 16 日	
20 日	ケアカンファレンス
25 日	職員会議・実行委員会、衛生委員会、感染症予防対策委員会
27 日	
30 日	リスクマネジメント委員会
00 [
7 月	
7 日	ケアカンファレンス
	ケアカンファレンス
	ケアカンファレンス
,	ケアカンファレンス
25 日	
	身体拘束廃止委員会
8 月	
$3\sim5$ 日	ケアカンファレンス
$10 \sim 12$ 日	ケアカンファレンス
•	ケアカンファレンス
29 日	
20 H	リスクマネジメント委員会、身体拘束廃止委員会
	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·

_		NO. 2
月日	実行委員会 ・ 職員会議 等	
9 月		
2,5 日	ケアカンファレンス	
7~ 9 日	ケアカンファレンス	
12, 14 日	ケアカンファレンス	
21 日	ケアカンファレンス	
22 日	職員会議・実行委員会、衛生委員会、感染症予防対策委員会	
27 日	リスクマネジメント委員会、身体拘束廃止委員会	
10 月		
3 日	ケアカンファレンス	
5~ 7 日	ケアカンファレンス	
12, 14 日	ケアカンファレンス	
19 日	ケアカンファレンス	
25 日	職員会議・実行委員会、衛生委員会、感染症予防対策委員会	
31 日	リスクマネジメント委員会、身体拘束廃止委員会	
11月		
4,7 日	ケアカンファレンス	
9 ~ 10 日		
14 日		
25 日		
29 日	身体拘束廃止委員会	
30 日	リスクマネジメント委員会	
12 月		
8~9日	ケアカンファレンス	
12, 14 日		
23 日		
30 日		
31 日		
1 月		
6 日	ケアカンファレンス	
11~13 日		
15~16 日		
24 日		
31 日		
(2月1日)	リスクマネジメント委員会	

		NO. 3
月日	実行委員会・・職員会議・等	
$12 \sim 13$ 日 22 日	ケアカンファレンス ケアカンファレンス ケアカンファレンス 職員会議・実行委員会、衛生委員会、感染症予防対策委員会 リスクマネジメント委員会、身体拘束廃止委員会	
$13 \sim 14$ 日 $21, 23$ 日	ケアカンファレンス ケアカンファレンス ケアカンファレンス 職員会議・実行委員会、衛生委員会、感染症予防対策委員会 リスクマネジメント委員会、身体拘束廃止委員会	

令和4年度 防災訓練報告

月日	訓練種別	場 所	内 容
	・図上訓練(防火管理及び非常 災害対策計画について)	平安荘	・防火管理における組織・役割等及び非常災害計画について説明。
4/25	次音列來可圖(こう)・()	1Fホール	・災害時の通勤ルートについて説明。
	・非常時対応備品の点検		
	・実技訓練(総合防災訓練)	平安荘	・総合訓練を円滑に行えるよう、実技にて各自の 役割りを説明。
5/25		すみれユニット	(文音)ソを成り。
	•消防設備点検(自主)	1,	
	・総合防災訓練(通報・消火・避 ##)	777 717	・火災が発生し全棟延焼の恐れあるとの想定で 訓練を行う。
6/14	難)	平安荘	司用株で117。
	•非常時対応備品の点検		
7./00	・自動火災報知設備取り扱い操作訓練	平安荘	・非常対応できるように、自動火災報知設備の取り扱い、操作方法について習得する。
7/29	[[] 日	事務室	り扱い、採用が伝について自行する。
	•消火訓練(散水栓)(消火器)	平安荘	・初期消火への対応の為、散水栓の性能と消火
8/29		1Fホール	器の種類と性能を知り、実地訓練を行う。
0/29	・消防設備点検(業者)		
	•非常時対応備品の点検		
9/26	・図上訓練(総合防災訓練)	平安荘	・火災発生時の対応について話し合い、火災発 生時の個々の役割や注意事項の確認を行う。
9/20		1Fホール	工机小加、小区口、口下四十、光、小陆加。6月70
	•総合防災訓練(通報・消火・避		・火災が発生し全棟延焼の恐れあるとの想定で
10/31	^{無)} ・緊急時の移乗方法の実技	平安荘	訓練を行う。 ・訓練を通じてフルリクライニング車椅子への移乗
	・非常時対応備品の点検		を行っている。
	・図上訓練(夜間マニュアル訓	平安荘	・夜間非常時の対応について、役割分担や必要
11/28	練)	1Fホール	注意事項の確認を行う。
	•消防設備点検(自主)		
	・夜間想定マニュアル訓練	₩#	・夜間に火災が発生、火の勢いが強く、拡大の恐れがあるとの想定で入所者を速やかに安全な場
12/6		平安荘	所に避難誘導させる。
	•非常時対応備品の点検		
1 /0	•通報訓練	平安荘	・通報機器を使用し、避難理由等を職員・入所者に正確にわかりやすく伝達できるよう伝達方法を
1/9		事務室	学ぶ。
	・土砂災害時の避難方法	平安荘	・土砂災害発生前に、入居者を安全な場所への
9/10		1Fホール	避難を円滑に対応できるよう、避難方法について 説明行う。
2/10	- ・消防設備点検(業者)	. ,	10-741470
	•非常時対応備品の点検		
0./0	•救命法	平安荘	・医務の指導により、心肺蘇生の方法、AEDの使用方法について実はを行う、アーカ関緊急時の
3/8		1Fホール	用方法について実技を行う。又、夜間緊急時の 応急手当の基礎、処置について説明行う。
	<u>l</u>	<u> </u>	

※非常時対応備品(懐中電灯、拡声器、安全ベルト、ヘルメット等)

部門別事業報告書 · 生活相談員部門

1. 支援目標

- ① 施設の運営方針に基づき、地域や家庭との結びつきを重視し、関係する市町村や 介護保険サービス提供者等と密接な連携を図るものとする。
- ② 生活相談員は『平安荘の窓口として、心身の状態に配慮しながら安心感のある対応ができるようにする。』ことを年度目標として努める。

2. 入所、退所に関すること

(1)長期入所に関すること

- ・ 入所申込希望者及びご家族に対して、心身の状態や介護状況等を確認の上、受付 し、待機期間等わかりやすい説明に心掛け。入所待機者の確保に努めている。
- ・ 入所対応では、入所者とそのご家族に対し、重要事項の説明方法を工夫しながら よりスムーズに契約できるよう努めている。
- ・ 退所の申し出があった際には、ご家族と密に話し合い、医療機関等とも連携を図りながら適切な対応に努めている。

(2) 短期入所に関すること

- ・ 短期利用の希望について、居宅介護支援事業所から依頼を受け、利用者の心身の 状態やご家族の介護状況等の調査を行い、入所検討している。
- ・ 入所に当たっては、長期入所同様に重要事項の説明方法を工夫し、スムーズに契約できるよう努めている。
- ・ 利用日程については、利用者やご家族、居宅介護支援事業所と連携し、利用期間 の調整が迅速に行えるよう努めている。また満床日には、退所時間と入所時間の調 整を行い、利用しやすよう受け入れ態勢を整えている。
- ・ 利用者の体調面や精神面での変化がみられた時には、ご家族や担当介護支援専門 員と連携し、早期の対応を行うことができている。
- ・ 退所の際には、ご家族に施設での生活状況について報告し、連携を図っている。

3. 協働支援及び多職種との連携

(1)長期入所者への支援

- ・ 施設生活に対する意向や生活課題等を把握し、施設サービス計画書に基づき多職 種協働により支援している。
- ・ 施設サービスの支援状況を評価しながら、入居者及びご家族と定期面談等を行い、 入居者がその能力に応じた生活が送れるように支援している。

(2) 短期入所者への支援

- ・ 利用期間中の施設に対する意向や生活課題等を把握し、居宅介護サービス計画書に沿った短期入所介護サービス計画書を作成、それに基づき多職種協働により、在宅と変わらない生活が延長でき、利用後も今まで通りの生活が継続できるよう支援している。
- ・ 利用期間中の状況等について、担当介護支援専門員に報告し、情報共有している。

(3) 多職種との連携

- ・ 業務上の連絡及び報告等を迅速かつ正確に行うよう努め、円滑な多職種連携を図っている。
- ・ 「整理、整頓、清潔」に対する気づきを養い、他の職員へ積極的に促すよう努めている。

4. 相談・苦情及び個人情報

- ・ 入居者やご家族からの相談、苦情があった際には、適切な助言や迅速な対応ができるよう努めている。
- ・ 個人情報については、入所時に説明し同意を頂き、適切な取り扱いをしている。

5. 地域との連絡、調整

- ・ 地域、家族、市町村、他事業所、他施設等と連携を図り、様々な支援における適 切な対応に努めている。
- 各職種と連携しながら、年間行事の調整を行い、入居者が季節感を味わいながら 楽しく生活できるよう努めた。

6. 感染症対策

- ・ 新型コロナウィルスの施設内感染時には、ご家族や関係機関に連絡、調整を行い、 状況報告や短期入所の受け入れ再開時期等についてお知らせし、連携を図っている。
- ・ 年間を通じて、実施している施設の感染症予防対策等をご家族や関係機関にお知らせしながら、来荘時の人数制限等の対応を実施している。

令和4年度 慰問・ボランティア等受け入れ状況報告

月日	慰 問 者 ・ 訪 問 団 体 名 等
9 月 17日 19日	

部門別事業報告書・介護部門

1. 介護職としての職員像

- 入居者一人ひとりの意思及び人格を尊重し、尊厳と自立を支えるケアに努めた。
- ・ 適切な挨拶・対人マナーを身に付け、人間性を磨き、思いやりのあるケアの提供 に努めた。
- ・ PDCAサイクルの指導方式で職員の育成を図り、施設職員として目指すべき姿と方向性の理解と専門的能力を日々の業務で発揮できるよう努めた。
- ・ 「報告・連絡・相談」の徹底により、情報共有等チームケアの強化に努めた。

2. 入居者処遇

(1) 施設サービス支援

- ・ 施設の理念に沿い、利用者並びにご家族や職員との絆を深め、人とのつながりを を大切にしたサービス提供を心掛け実施している
- ・ 各ユニットにおいて、利用者が快適に過ごせる環境づくりを行っている。
- ・ ユニットごとの目標について随時、評価を行いながら、ユニットケアの推進に努めている。
- チームケアを大切に考え、職員同士の連携を密にして、サービスの質の向上を図っている。
- ・ 日常生活の介護において、当施設の介護マニュアルに基づき、介護ルールを順守 したケアの実施と安全を配慮した職員体制での支援を行っている。
- ・ 入居者の日々の生活の様子や状態について、職員間で常に情報の伝達及びケアの 共有を図り、入居者の生活上の安全を確保できるよう努めている。
- ・ 面会、外出等の機会を設け、感染症の対策等で面会が難しい時には、写真等で生活の様子をお知らする等支援し、家族関係の絆を図れるようにしている。
- ・ リハビリ体操、レクリエーションサークル、脳トレ等の活動を実施し、心身の活 性化や身体機能の低下予防に努めている。
- ・ 季節折々の行事を計画し、ユニット以外での利用者交流や併設のデイサービス利 用者との交流の充実が図れている。

(2) 個別援助計画の作成、評価

- ・ 施設サービス計画書と連動した個別援助計画を作成し、入居者一人ひとりの個性 や生活リズムに沿った支援ができるよう努めている。
- ・ 個別援助計画の実行評価、状態変化時等の再アセスメントによる課題分析により、 随時個別援助計画の見直しを行い、入居者の希望に沿った個別ケアを実施している。

(3) 認知症ケアの実施

認知症の症状のある入居者に対し、積極的なアプローチを図りながら認知症ケア を実践し、その人らしく安心して暮らせるよう支援している。

3. 介護職としての人材育成・キャリアパス支援

(1) 職場研修計画の実施

- ・ 研修を通して適切な挨拶・対人マナーの習得及び「報告・連絡・相談」における 初期行動、中間行動、最終行動を理解し実践できるよう努めている。また日々の指 導の中で「整理・整頓・清潔」を身に付け、業務の効率化を図っている。
- ・ コロナ状況下により、外部研修への参加はできなかったが、施設内研修を通し、 学び得た介護技術を当施設の介護マニュアルに盛り込み、安全な介護が提供できる ようにしている。
- ・ 各種委員会おいて、個々に職務研修及び介護院内研修を実施し、委員会活動や職員一人ひとりの自主性を磨き、行動にうつせるよう努めている。

(2) キャリアパス支援

介護スキルアップのために必要な資格取得・研修受講の希望がある職員に対し、 資格取得に専念できるよう援助し、今年度は介護福祉士の資格を1名取得している。

4. 感染症予防・対策に関する活動

10月と11月に新型コロナウィルスの施設内感染があったが、施設の対応策に沿い、 大きなクラスターとはならず、短期間での終息となっている。また年間を通し、入 居者や職員の衛生管理の徹底を図り、感染症予防に努めている。

5. 身体拘束、リスクマネジメントに関する活動

- ・ 身体拘束に関しては、年度初めには対象者は3名であったが、毎月身体拘束廃止 委員会開催にて、廃止に向けた取り組みを検討し、段階的な拘束時間の短縮等を行 い、年度末には対象者は2名となっている。
- ・ 今年度の事故件数は長期入所、短期入所で計4件あり、事故状況について速やか に分析し、再発防止対策を講じ、介護職員全体へ対策等の周知徹底を図っている。

月日	
月口	<u> </u>
4月	
8, 10, 日	
11, 12 日	介護院内研修 「マナーの基本について」
14 日	
(27~ 日	(A CC T. D. A CC T. II) (A CC T. D. A CC T.
5月3日)	(各種委員会活動状況報告会)
27 日	食事委員会、排泄委員会、褥瘡対策委員会
5月2日	入浴委員会
3 日	リハビリ・認知症ケア委員会、レク計画担当委員会
5月	
18, 19, 日	△ # 120 - H 7 17 (6
20, 21, 日	介護院内研修「「言葉遣いについて」
23 日 (30~ 日	
6月3日)	(各種委員会活動状況報告会)
30 日	食事委員会、排泄委員会
31 日	
6月1日	入浴委員会
3 日	レク計画担当委員会
6月	
21, 22, 日	介護院内研修 「来客応対について」
23, 24 日	
(29~ 日 7月3日)	(各種委員会活動状況報告会)
29 日	食事委員会、入浴委員会、リハビリ・認知症ケア委員会
7月1日	
3 日	
7月	
14, 15, 日	介護院内研修 「電話応対について」
16, 17 日	
27 日	
30 日	新人職員研修 「食事介助の手順と注意点 口腔体操と口腔ケアについて」
(31~ 日 o日o日)	(各種委員会活動状況報告会)
8月2日)	入浴委員会、排泄委員会、リハビリ・認知症ケア委員会
31日	大俗安貞伝、併在安貞伝、リハビリ・認知症グノ安貞伝 食事委員会、レク計画担当委員会、褥瘡対策委員会
ол 4 Н	以 + 夕 只 厶 、

月日	NO. 2 介護院内研修 ・ 委員会 等
8月 27,30 日 27 日 30 日 (28~ 日 9月2日) 28 日	介護院内研修 「24Hシート一覧表の作成について」 新人職員研修 「入浴の目的と基本的注意点について」 新人職員研修 「褥瘡対策及び体位変換の実技指導」 (各種委員会活動状況報告会)
9月2日 9月 28,30日 (30~日 10月2日) 30日 10月2日	(各種委員会活動状況報告会)
10月 26日 27日 19~21日 (28~日 11月2日) 28日 31日 11月2日	(1)佐々木ユリ様の右上腕部骨折に関すること (2)大川ハツ様の転倒事故に関する事介護院内研修 「入浴ケアについて」 (各種委員会活動状況報告会) 褥瘡対策委員会、排泄委員会
11月 1~6 日 23~26 日 25,28 日 29 日 25 日 28 日 29 日	介護院内研修 「リハビリについて」 (各種委員会活動状況報告会) レク計画担当委員会、リハビリ・認知症ケア委員会、排泄委員会 入浴委員会

T	NO. 3
月日	介護院内研修・・委員会・等
12月 28~30 日 28 日 29 日 30 日	褥瘡対策委員会、排泄委員会 入浴委員会
1月 24~30 日 24 日 26 日 30 日	レク計画担当委員会、リハビリ・認知症ケア委員会、褥瘡対策委員会 食事委員会
2月 1 日 20~22 日 24~30 日 24 日 26 日 27 日 28 日	介護院内研修 「24Hシート一覧表について」 (各種委員会活動状況報告会) レク計画担当委員会、リハビリ・認知症ケア委員会 褥瘡対策委員会 食事委員会、入浴委員会
3月 24~27 日 7 日 8 日 7,8 日 8~10 日 24~30 日 24日 26 日 30 日	新人職員研修 「老人施設のリスクマネジメントについて」 「SNSに関するリスクマネジメントについて」 新人職員研修 「身体拘束について」 介護院内研修 「認知症について」 (各種委員会活動状況報告会) レク計画担当委員会、リハビリ・認知症ケア委員会、褥瘡対策委員会 食事委員会

令和4年度 院外研修・資格試験等報告

月日	院外研修 ・ 資格試験 等	受講者	針数
1 月 29 日	第35回介護福祉士国家試験	2	名
* :	施設外研修については、新型コロナウィルス感染症状況から参加を見合ね 	つせる。 	
		I	
		計 2	名

入所者に関する報告

令和5年3月31日

※ 市町村別入所者数

	山田町	宮古市	大槌町	釜石市	計
男 性	16人	0人	1人	0人	17人
女 性	60人	0人	0人	1人	61人
合 計	76人	0人	1人	1人	78人

※ 年齢構成

	70才未満	70才以上 75才未満				90才以上 95才未満	95才以上	計
男性	0人	0人	2人	6人	6人	2人	1人	17人
女 性	0人	0人	3人	8人	12人	25人	3人	61人
合 計	0人	0人	5人	14人	18人	27人	14人	78人

※ 年齢の最高、最低

	最 高 齢	最低年齢	平均年齢
男 性	98才6ヶ月	75才4ヶ月	85才8ヶ月
女 性	102才9ヶ月	75才7カ月	89才1ヶ月

※ 在所期間

	1年未満	1年以上 3年未満		5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上	計
男性	6人	4人	4人		1人	0人	0人	17人
女 性	7人	9人	14人	18人	11人	1人	1人	61人
合 計	13人	13人	18人	20人	12人	1人	1人	78人

※ 男女別最長在所期間

	最 長
男 性	11年1ヶ月
女性	46年3ヶ月

令和4年度年度入退所状況報告

※ 入退所内訳

項目	II 4m		入	. 月	斤	者			退	Ī	折	者	,
	月 初 在所者	自	宅	病院	•施設	計	死	亡	長期	入院	その	り他	計
月	111// 11	男	女	男	女	ĒΙ	男	女	男	女	男	女	ĒΙ
4月	79	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1
5月	79	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	1
6月	79	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	1
7月	79	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0
8月	80	1	0	0	0	1	0	1	0	2	0	0	3
9月	77	0	2	0	1	3	0	0	1	0	0	0	1
10月	79	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	1
11月	79	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0
12月	80	1	1	0	0	2	0	2	0	0	0	0	2
1月	80	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	2
2月	78	1	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0
3月	89	0	0	0	1	1	0	2	0	0	0	0	2
合	計	3	4	3	5	15	0	8	2	4	0	0	14

※ 入退所内訳

	入所者数	退所者数
男性	6人	2人
女性	9人	12人
合計	15人	14人

※ 市町村別入所者要介護度内訳

(平均介護度:4.14)

市町村名要介護度	山田町	大槌町	釜石市	小 計
要介護1	0	0	0	0
要介護2	0	0	0	0
要介護3	13	0	0	13
要介護4	37	1	1	39
要介護5	26	1	0	27
合 計	79	2	1	79

ADL(日常生活動作)集計表

令和5年3月31日現在:入所者79名

	A D L 状 況		男	女	計
食	a . 時間がかかっても自力で摂取できる	1 . 自立 2 . 食べこぼしやムセなどがあり見守りが必要	9	9	29
1 [b . 手を添える、器を替えてもらうなど一部介助を要する		2	16	18
事	c . 全面的に介助を要する	1 . 自分で食べることができず全面介助が必要 2 . 経管栄養	3 1	14 14	32
排	a . 時間がかかっても一連の排泄動作を一人で行える	1 . 自立 2 . 排泄後の身だしなみが不十分など声掛け見守りが必要	0	<u>0</u> 1	1
泄	b . ズボンの上げ下げをしてもらう、便器に座らせてもらうなど 一部介助を要する	1. 昼夜トイレ介助 2. 昼トイレ介助、夜間ポータブルトイレ・尿器介助 3. 昼夜ポータブルトイレ・尿器介助 4. 昼トイレ・ポータブルトイレ・尿器介助、夜オムツ使用	4 1 0 3	5 0 4 4	21
4匝	c . 全面的に介助を要する	1 . トイレ・ポータブルトイレ・尿器全面介助 2 . 常時オムツ使用	2 7	2 46	57
入	独 浴 a . 時間がかかっても一人で行える(声掛け見守り) b . 身体を洗ってもらう、浴槽に入るのを手伝っても		0 1	0 1	2
浴	中間浴 a . 身体を洗ってもらうなど一部介助を要する b . 全面的に介助を要する		8 1	6 14	29
	特 浴 a . 全面的に介助を要する		7	41	48
移	a . 介助なしに一人で移動することができる(声掛け見守りを っ 含む)	1 . 自力歩行、杖使用での歩行 2 . 歩行器使用 3 . 自力で車椅子の乗り降りを行い、自力操作	1 1 3	$\frac{1}{0}$	7
動	b . 手をかしてもらうなど一部介助を要する "	1. 介助歩行、又は、歩行器を使用するが介助が必要 2. 車椅子の乗り降りに介助を必要とするが自力操作	0	3 5	11
75/	c . 全面的に介助を要する	1 . 車椅子等使用だが、操作できず介助 2 . 安静を必要とする	9	52 0	61
着	a . 時間がかかっても一人で行える(声掛け見守りを含む)		0	1	1
着替	b . 身だしなみを整える、衣服を構えるなど一部介助を要する c . 全面的に介助を要する	10	23	33	
	c. 全面的に介切を安する a. 時間がかかっても一人で行える(声掛け見守りを含む)		7	38 5	45 12
整	b . 洗顔タオルや櫛を手渡してもらうなど一部介助を要する		5	25	30
容	c . 全面的に介助を要する		5	32	37
-1t.	a . 完全に通じる		6	12	18
疎 意	b . 言葉を思い出したり、考えをまとめるのが困難であるが、ある	程度話の内容等を理解し会話できる	4	13	17
通思	c . 単純で直接的なコミュニケーションであれば通じる		6	15	21
	d . ほとんどまたはまったく通じない		1	22	23

部門別事業計画書 • 看護部門

1. 利用者の健康的な日常生活、機能維持のために・・・

(1) リハビリテーション実施による残存機能維持・増進

機能訓練士による週2回(木曜日、金曜日)の機能訓練や関節可動域訓練を行い、残存機能の維持や関節拘縮の進行を少しでも予防でき、ADL維持に努めている。寝たきり利用者も居室内で実施していただき、拘縮の進行防止や維持に努めた。また、毎週月水曜日にはリハビリ委員を中心に関節可動域訓練を行い、低下防止に努めている。

- (2) 日常の健康観察による異常の早期発見・早期治療
 - ・ 週1回の回診にて定期薬を処方していただき、異常者・急変者は嘱託医報告の元に病院 受診となっている。
 - ・ 急変者の入院治療により、早期対応・早期治療に繋がり、症状回復に努めた。
 - ・ 加齢に伴い摂食障害や摂食意欲の低下による経管栄養者は16名となっている。また、適 宜喀痰吸引の必要な利用者3~4名であり、吸引実施しながら症状の悪化防止に努めている。
 - ・ 入居者の重度化により、急変時への対応が課題となっており、腎盂腎炎や尿路感染症による発熱にて、入退院を繰り返す方も多く15名が留置カテーテル挿入となっており、定期 交換や尿状態の確認も必要となっている。
- (3) 介護事故に対しての速やかな対応
 - ・ ヒヤリ・ハット報告の場で話し合いを持ち、入居者の行動状況を観察・把握しながら事 故防止に努めている。外傷事故発生時には介護職員と連携し、病院受診等対応している。
- (4) 年2回(春、秋)の健康診断の実施
 - ・ 予防医学協会へ依頼して、5月・10月の2回実施。
 - 有所見者については医師へ報告し、適切な治療を受ける等の健康管理に努めている。
- (5) 結核予防法に基づき、年1回の胸部レントゲン撮影の実施
 - 予防医学協会へ依頼して8月に実施。
 - ・ 入院者を除いた72名行い、精密検査の方は0名。
- (6) MRSA・ノロウイルス等各種感染症の予防、発症時の拡大防止対策に努める。
 - ・ 年間を通し、全利用者の手洗い・うがいの励行、居室内・リビング内の清掃・消毒を 行っており、流行時期には更に強化に努めている。
- (7) インフルエンザの予防対策
 - ・ 例年通りご家族の承諾をいただき、インフルエンザ予防接種は有熱者を除き実施し、 今年度もインフルエンザ発症者は無かった。
 - ・ 流行時期には、ご家族に面会制限のご協力を頂き、更に来荘時には、マスクの着用・ 手洗い・うがい等のご協力を得て感染予防に努めた。

2. 職員が明るく良いケアができるよう、健康の維持管理に努める

- ・ 予防医学協会に依頼実施のもと、3月1日には全職員、9月22日には夜勤従事者の健康診断を行い、異常の早期発見に努めている。
- ・ インフルエンザ予防接種は全職員実施(10月4日・11日・18日・25日)している。感染予防については、職員が感染源とならないよう、マスク着用や手洗い・うがいを励行している。

3. 新型コロナウイルス感染症の感染防止対策について

- ・ 新型コロナウイルス感染症予防として、近隣の動向に沿いながら施設対策を随時実施 している。
- 10月に短期入所、11月には長期入所での施設内感染があったが、施設対策に沿い、他 部門と連携し対応することで、拡大感染を防ぎ、短期間での終息となっている。
- ・ 利用者、職員共に8月22日・23日に4回目のワクチン接種を行っている。

4. 職員の育成について

・ 施設の看護師としての役割や方向づけを示し、多職種連携に努めている。

5. 環境整備について

・ 看護師室及び寝たきり利用者のベット周囲の清潔保持、吸引機及び吸引用台の保清を 行っている。

部門別事業計画書 • 給食部門

1. 利用者処遇

- ・ 諸調査(体重・残食量等)を行い、介護職員と連携を取りながら、栄養ケアマネジメントを行っている。
- 代替食の一覧表を作り実施している。
- その方に合った自助具の使用により自力摂取の援助に努めている。
- ・ 嗜好調査を年1回実施、一日の全体の残食量も計量し記録している。
- むせやすい方には増粘剤を使用している。

2. 治療食の実施

- 減塩食を実施している。
- 糖尿食を実施している。

3. 利用者の重度化(咀嚼力、嚥下力の低下)に伴う献立の取り入れ

- ・ 粥食、副食軟菜の方が増え、献立内容も柔らかい物が要求されており、スチームコンベクションオーブンを活用している。
- ・ ゼリー食の提供が増え、献立の内容を見直している。

4. 行事食の実施

・ 祝祭日、施設の祭事、毎月の誕生会に合わせて行事食を提供している。

5. 季節感のある食事

・ 食材は努めて旬の物を使用し、器と盛り付けに工夫している。

6. 食事環境の家庭的雰囲気作り

各ユニットキッチンで介護職員が飯と汁を作り、五感を刺激し食事の時間を伝えている。

7. 直接処遇職員との連携

日々の利用者の状態に応じて、代替え食を提供している。

8. 施設内給食研修の実施

毎月1回多種の研修(調理実習、栄養指導、衛生指導)等を行っている。

9. 衛生管理の徹底

- 衛生点検表を作成し、それに添って自己の健康管理を行っている。
- ・ 定められている貯水槽の清掃・点検と調理室の害虫駆除は専門業者に委託している。
- 厨房には、冷房設備が設置されており温度・湿度管理をしている。
- ・ 月1回病原菌検査を実施している。
- 毎日調理作業前後の塩素濃度を測定し記録している。
- ・ 生鮮食品の納入時には品温測定し記録している。
- ・ 食品加熱後の中心温度を測定し記録している。
- 夏場の刺身の使用は避けている。
- ・ 食器・器具は洗浄後、消毒保管庫を使用している。
- ・ 電解水を使用し食材・器具の洗浄と除菌を行っている。

10. コロナウイルス対策

- 日々の衛生管理に加え、出勤時体温を測定し記録している。
- ・ 食材納入業者にも、体温の測定と記録を協力して頂いている。

11. デイサービス事業・配食サービス事業

- ・ 食を通じて季節を感じてもらえるように旬の食材を使用している。
- ・ 11月1日より、毎週月曜日から木曜日の4日間、山田町配食サービス事業へ手作り弁当を提供している。

山田町配食サービス献立

11月

11月1日	ご飯 鮭の幽庵焼き 温野菜 菊のお浸し カボチャサラダ 五目ひじき煮 茶碗蒸し 一夜漬け	11月14日	ご飯 秋刀魚の甘露煮 野菜入り卵焼き 温野菜 里芋煮 きのこの和風パスタ 白菜の辛子和え	11月24日	チャーハン たらのハーブ焼 豚しゃぶ温野菜 大根サラダ じゃが芋の重ね焼き 温野菜 ー夜漬け
11月2日	ご飯 秋刀魚の甘露煮 菊の酢漬け 出し巻き卵 シュウマイ 筑前煮 煮豆 一夜漬け	11月15日	ご飯 天ぷら 小松菜の辛子和え 南瓜のいとこ煮 きんぴらごぼう しらす佃煮 りんご	11月28日	ご飯 ぶりの照り味噌焼き 卵焼き きのこしぐれ煮 長芋のわさび和え 温野菜 煮豆 牛乳寒天
11月3日	ご飯 えびクリームコロッケ 野菜(レタス・貝割) 人参しりしり 鶏肉大根煮 えのきとじゃこのピリ辛素 一夜漬け	11月16日	ご飯 鮭の甘辛醤油焼 出し巻き卵 蕪と生揚げの煮つけ 春菊の胡麻和え 人参しりしり 温野菜	11月29日	ご飯 出し巻き卵 鮭フライ レタスサラダ 小松菜の辛子和え 蕪のあんかけ 温野菜 みかん
11月7日	ご飯 山椒ちりめん 鶏唐揚げ タルタルソース 温野菜 さつま芋の小倉煮 昆布角煮 りんご	11月17日	ご飯 昆布佃煮 豆腐と牛蒡のハンバーク 焼肉 青梗菜としめじの煮物 和風サラダ 温野菜 りんご	11月30日	ご飯 シチュー タラのホイル焼き レタスサラダ 牛と白滝の炒め煮 人参しりしり 青梗菜の酢味噌掛け
11月8日	ご飯 秋刀魚の甘露煮 牛ステーキ ワインソース 野菜(レタス・貝割) 茶碗蒸し ひじき煮 白菜の辛子和え	11月21日	ご飯 甘辛チキン 卵焼き レタスサラダ かぶのあんかけ ほうれん草のナムル 煮豆 温野菜		
11月9日	ご飯 サバの味噌煮 いりどり煮 白菜と生揚げ煮 エビチリ 醤油卵 りんご	11月22日	ご飯 ふし味噌 沖油目焼き ミートボール 含め煮 大学芋 温野菜 マカロニサラダ 一夜漬け		
11月10日	ご飯 ふし味噌 鮭の南蛮漬け 南瓜のハチミツ煮 きのこしぐれ煮 サラスパサラダ 醤油卵	11月23日	ご飯 山椒ちりめん 煮込みハンバーグ 温野菜 アボカドディップ 鰆焼き レタスサラダ 和風パスタ 春菊のわさび和え		

山田町配食サービス献立

12月

12月					
12月1日	ご飯 鮭汁 野菜入り卵焼き 五目野菜炒め 南瓜茶巾 結び昆布煮 白菜の辛子和え みかん	12月14日	カレーライス 福神漬け 鮭フライ ブロッコリーのマヨ和え 南瓜のバター炒め 醤油卵 牛乳寒天	12月27日	ご飯 昆布佃煮 たらの柚子味噌焼き 出し巻き卵 じゃが芋さつま揚げ煮 レタスサラダ 大学芋
12月5日	ご飯 鮭フレーク 煮込みハンバーグ 野菜(キャベツ・人参) カレーピクルス ぶり大根 ナポリタン 白菜お浸し 大学芋 ピーマンのきんぴら	12月15日	ご飯 ミックスフライ 野菜(レタス・貝割) サラスパサラダ 五目豆煮 大根とつくね煮 醤油卵	12月28日	ご飯 新巻鮭 煮しめ 大根生酢 昆布巻き えびの旨煮 きんとん 黒豆 田作り 紅白かまぼこ ねりきり
12月6日	ご飯 ふし味噌 鮭の甘辛醤油焼 筑前煮 ほうれん草の菜種和え 春巻き 芋餅 一夜漬け	12月19日	ご飯 たらフライ 温野菜サラダ 豚角煮 カレーピクルス ポテトサラダ ー夜漬け		
12月7日	いなりのり巻き おでん たらムニエル 豚肉のロール巻き 白菜の辛子和え 一夜漬け	12月20日	ご飯 ぶりの照り焼き レタスサラダ 和風ハンバーグ じゃが芋さつま揚げ煮 マカロニサラダ 一夜漬け		
12月8日	ご飯 山椒ちりめん 和風煮込みメンチ 牡蠣のしぐれ煮 ポテトサラダ 春菊の胡麻和え 切干大根煮 キウイフルーツ	12月21日	ご飯 天ぷら 焼き鳥風 カレーピクルス 五目野菜炒め 蕪と生揚げ煮 ー夜漬け りんご		
12月12日	ご飯 沖油目西京味噌焼き 酢豚 卵焼き 含め煮(芋・はんぺん・人参) 磯巻きほうれん草 煮豆 りんご	12月22日	ご飯 鮭の味噌焼き 出し巻き卵 鶏治部煮風 南瓜煮 大根サラダ ぬた和え		
12月13日	ご飯 天ぷら 大根と豚肉煮 ミモザサラダ 小松菜の辛子和え しらす佃煮 みかん	12月26日	ご飯 鰆の南蛮漬け 水菜とカニのサラダ ハンバーググラッセ カリフラワーのマヨカレー炒め 蕪のそぼろ煮 青梗菜の辛子和え		

山田町配食サービス献立

1月

	34-	1			SAE - 1 - 1 - 1 - 1
	ご飯		ばら寿司		ご飯 ふし味噌
	鮭の立田揚げ		鰈の甘酢あんかけ		つみれ鍋風
	天ぷら		含め煮		鮭の南蛮漬け
1月4日	含め煮 茶碗蒸し	1月17日	水菜とカニのサラダ	1月30日	蓮根の梅おかか煮
	昆布巻き きんとん		蓮根のきんぴら		春菊の胡麻和え
	大根生酢		一夜漬け		小松菜のナムル
	きんかん甘露煮		イチゴ		うずらの卵ソース炒め
	ご飯		ご飯		ご飯
	ミックスフライ		新巻さけ		けんちん汁 焼き鳥風
	野菜(レタス・貝割)		豚肉の生姜焼き		出し巻き卵焼き
1月5日	マカロニサラダ	1月18日	こふき芋 温野菜	1月31日	凍り豆腐煮
	ぶり大根 人参グラッセ		ふろふき大根		青梗菜としめじの煮物
	胡瓜漬物		胡瓜の梅和え		いんげんの胡麻和え
	ねりきり		一夜漬け		無生酢 クコの実添え
	ご飯		五目御飯		W-11 > - 00) (WW. C
	たらのかぶら蒸し		イワシ甘露煮		
	イタリアンサラダ		煮込みハンバーグ		
1月9日	半熟卵	1月19日	出し巻き卵		
1750	ビーフシチュー	177131	レタスサラダ		
	春菊のわさび和え		を 春菊の胡麻和え		
	オレンジ バナナ		オレンジ		
	ご飯		ご飯		
	こ		こ どんこ味噌煮		
			温泉卵		
1 - 10 -	野菜(レタス・胡瓜・玉葱)	4 🗆 00 🗆			
1月10日	じゃが芋重ね焼き	1月23日	松風蒸し帆立の佃煮		
	ほうれん草の白和え		ほうれん草のお浸し		
	フルーツポンチ		ブロッコリービーンズサラダ		
	胡瓜漬物		みかん		
	ご飯		カツカレー 福神漬け		
	おしるこ		サイコロサラダ		
	鮭の甘辛醬油焼		大根そぼろ煮		
1月11日	鶏治部煮風	1月24日	茹で卵		
	蕪の柚子香和え		ほうれん草のごま和え		
	昆布角煮 胡瓜漬物		煮豆		
	オレンジ		オレンジ		
	五目ちらし寿司		ご飯		
	鰆の西京味噌焼き		天ぷら		
	含め煮(芋・はんぺん・人参)		煮込みハンバーグ		
1月12日	エビチリ	1月25日	蕪のあんかけ		
	牡蠣の磯部和え		レタスサラダ		
	小松菜のナムル		蓮根とエリンギのきんぴら		
	煮豆		りんご		
	ご飯		ご飯		
	赤魚煮		かれいの唐揚げ		
	とりつくねネギソース		肉豆腐		
1月16日	凍り豆腐と蕪煮	1月26日	里芋柚子味噌煮		
	青梗菜の酢味噌かけ		春菊の胡麻和え		
	きのこの佃煮		牛蒡のマヨ和え		
	みかん		りんご		

山田町配食サービス献立

2月

2 <i>H</i>					
2月1日	ご飯 梅ガツオ 鱈の三平汁 豚肉のロール巻き 磯巻きほうれん草 ポテトビーンズサラダ 青梗菜炒め えのきの梅肉和え	2月14日	オムライス おにぎり(鮭) タラのホイル焼き ウインナーソテー マセドアンサラダ 切干大根煮 牡蠣のカルパッチョ オレンジ チョコプリン	2月27日	ご飯 山椒ちりめん 鮭のやまかけ焼 卵の千草焼き ニラもやし炒め セロリのきんぴら 梅味噌大根サラダ いよかん もも缶
2月2日	ご飯 カレーコロッケ えびフラ 野菜(キャベツ・人参) ナポリタン 白和え(ひじき) 大根豚肉煮 しらす佃煮 フルーツあんみつ	2月15日	ご飯 胡瓜漬物 鰆の西京味噌焼き 牛ソテー ワインソース 塩ゆで豆 若布煮 マカロニサラダ ほうれん草の菜種和え オレンジ	2月28日	帆立ご飯 唐揚げ 含め煮 出し巻き卵 野菜サラダ ナポリタン 煮豆 いよかん
2月6日	ご飯 どんこ汁 出し巻き卵 とりつくね煮 温野菜 じゃが芋そぼろ煮 小松菜のナムル きのこしぐれ煮 胡瓜漬物 キウイフルーツ	2月16日	ご飯 胡瓜漬物 鰆の立田揚げ 肉団子の甘酢あんかけ 凍り豆腐と蕪煮 大根サラダ かんぷら芋 人参とインゲンの胡麻和え 一夜漬け		
2月7日	ご飯 鮭フレーク カツ煮込み えびとアスパラ炒め 蕪のあんかけ ブロッコリービーンズサラダ 茶碗蒸し 佃煮 オレンジ	2月20日	ご飯 のり佃煮 鶏と根菜の甘辛炒め 出し巻き卵 水菜とちくわの白和え風サラダ 小松菜とじゃこ煮 蕪生酢 クコの実添え 桃缶 パイン缶		
2月8日	カレーライス 福神漬け ミックスフライ フレンチサラダ 茹で卵 牛乳寒天	2月21日	ご飯 肉じゃが煮 鰆の西京味噌焼き 春雨のピリ辛炒め 春菊の白和え 若布としらすのたらこ和え 一夜漬け オレンジ		
2月9日	ご飯 天ぷら ミートボール インゲンごま和え 五目豆煮 大根サラダ キウイフルーツ	2月22日	ご飯 鮭のワイン蒸しきのこソテー添 豆腐のえびあんかけ ブロッコリーサラダ ほうれん草の胡麻和え 蓮根の梅おかか煮 いよかん		
2月13日	ご飯 かれい煮 じゃが芋さつま揚げ煮 カレーピクルス 小松菜炒め えのきの梅肉和え オレンジ	2月23日	ご飯 甘辛チキン チョレギサラダ ふろふき大根 牛と白滝の炒め煮 青梗菜としらす煮 無生酢 クコの実添え オレンジ		

山田町配食サービス献立

3月

эд					
3月1日	ご飯 どんこ汁 肉野菜炒め 豚角煮 茎若布煮 マカロニサラダ 胡瓜漬物 人参生酢	3月14日	そぼろご飯 焼魚 帆立フライ 含め煮 春野菜サラダ ミートボールチリソース 煮豆 プレーンババロア	3月27日	ご飯 マス焼き 煮込みハンバーグ 水菜とちくわの白和え風サラダ 青梗菜としめじの煮物 里芋の唐揚げ 春雨のピリ辛炒め 牛乳寒天
3月2日	ご飯 梅ガツオ タラの甘辛煮 野菜(レタス・胡瓜・トマト) 親子煮 キャベッと生揚げのピリ辛煮 酢味噌掛け フルーツポンチ	3月15日	ご飯 鮭フレーク すき焼き風煮 エスニックサラダ 春菊の胡麻和え ひじき煮 卵焼き 牛乳寒天	3月28日	えびチャーハン 豚味噌焼き チョレギサラタ 筑前煮 無の煮つけ マカロニサラダ 一夜漬け オレンジ キウイフルーツ
3月6日	ご飯 八平汁 イワシの蒲焼き 牛と牛蒡のしぐれ煮 野菜の甘酢和え セロリピクルス ひじき煮 オレンジ	3月16日	ご飯 鰆の蒲焼き 豚肉の生姜焼き 千キャベツ オレンジ じゃが芋さつま揚げ煮 蓮根とエリンギのきんぴら めかぶ漬け	3月29日	ご飯 すき焼き サバの味噌煮 温泉卵 菜花のナッツ和え 煮豆 オレンジ
3月7日	ご飯 ミニ豚汁 かれいの唐揚げ 野菜(レタス・胡瓜・トマト) 卵焼き 和風サラダ 煮豆 オレンジ キウイフルーツ	3月20日	ご飯 のり佃煮 鰆の胡麻揚げ レタスサラダ いりどり煮 卵の千草焼き ほうれん草のかすみ和え 一夜漬け	3月30日	ご飯 赤魚煮 ポテトコロッケ 野菜 ナポリタン 大根サラダ ほうれん草のくるみ胡麻和え オレンジ
3月8日	ご飯 煮込みハンバーグ 野菜 ブロッコリーピーナッツ和え しらすと胡瓜の梅肉和え 茎若布のきんぴら じゃが芋さつま揚げ煮 人参グラッセ パイン缶		ご飯 鮭フレーク 天ぷら 味噌おでん 菜の花の胡麻和え キャベツ炒め オレンジ 団子		
3月9日	ご飯 えびクリームコロッケ 牛サイコロステーキ 野菜 こふき芋 明太子パスタ もやし辛子和え 春雨の中華風酢物 煮豆	3月22日	ご飯 イワシの南蛮漬け 肉じゃが煮 蒸し鶏と焼ききのこのサラダ 五目野菜炒め 一夜漬け オレンジ		
3月13日	ご飯 梅ガツオ 洋食屋さんのカツ 野菜 塩ゆで豆 マッシュポテト 白和え(ひじき) 小松菜の辛子和え オレンジ	3月23日	五目御飯 沖油目焼き 含め煮 出し巻き卵 酢豚 野菜サラダ キャベツのゆかり和え		

No, 1

月/日	議題	No, 1 研修内容
4月14日	嚥下調整食への取り組み(野菜)	軟菜食の方に食べやすい調理法に見直したいと思い、 今回はトマトと南瓜の調理方法を取り上げています。 小さくカットすることなく 柔らかく仕上げています。 スチームコンベクションオーブンの蒸す機能を使用し、 作業の効率も図っています。
5月13日	新入社員研修参加報告	基本的な心得、身だしなみ、言葉遣い、電話応対等を 学びました。 今回特に印象に残ったのは「指示の出し方、受け方、報告 の仕方」です。 指示を出す側、受ける側で5W2Hの共通意識があれば、 一度の会話で確実に要点を伝え把握することがで、効率 の良い業務に繋がります。 結論先出で指示や報告を行えるように、日々の業務で 信頼関係を築きたい。
6月13日	嚥下調整食への取り組み(野菜)	嚥下食用の大根、蕪、胡瓜を試作・試食しています。 常食と同じ形態を柔らかく仕上げることで、見た目に加え 生活に潤いが持てると思います。 他の野菜についても見直したいと思います。
7月13日	食事満足度調査結果報告	介護職員協力のもと、聞きとり調査で行っています。 高い満足度が得られていますが、嗜好の変化も考慮し 日々のミールラウンドで状態を見逃さないようにしたい。 今回の調査で得られた結果を今後に活かしたい。
8月16日	嚥下調整食への取り組み(卵)	安全な卵料理が提供できるように、加水・温度・加湿・加熱時間の見直しを行いました。 作業効率考え錦糸卵をスチームコンベクションオーブンで 試作・試食しています。ぱさつきがあり食べにくいとのことで した。
9月16日	香草を使用したソース	生の香草を使用したソース3品を試作・試食しています。 身近にあるイリリアンパセリとバジルを使用しすることで、 いつもより味に深みが感じられました。
10月13日	食中毒を未然に防ぐ	ノロウイルス感染予防のため、諸注意を促しています。 感染経路、殺菌方法、消毒液の作り方を取り上げています。 消毒液の作り方についも、図を用いて詳しく説明しています。 消毒液の次亜塩素酸ナトリウムは使用量を守り、人体への 悪影響を避けるように注意しています。 トイレの使用方法、掃除方法についても詳しく説明し、全員 が同じように作業できるようしています。 作業ごとの手洗いも徹底するよう指導しています。

No, 2

月/日	議題·表題等	研修•実技内容等
11月15日	嚥下調整食への取り組み(芋)	芋の硬さにバラつきがあり、同じ物が作れるように取り上げています。 今回はじゃが芋、さつま芋、里芋について試作しています。 調理事のポイントを確認しています。 * 十分加熱してから食材と汁を分けて軽量する * さつま芋については加水量を1.2倍とする。 * じゃが芋と里芋の増粘剤はソフティアUを使用する。
12月15日	嚥下調整食への取り組み(海草)	海草の種類により安定した硬さに仕上げのが難しい。 誰が作っても同じ硬さを提供できるように、海草の種類、 加水量、増粘剤の使用量を数値化しています。
1月17日	嚥下調整食への取り組み(魚)	ゼリー食の方に魚類の提供が難しく、代替えしています。 魚の優れた栄養分を摂取させたく見直しに取り組みました。 課題として 1、ストレーナーの目を粗目にし摂取できるか。 2、特有の生臭さを消したい。 3、加水量で栄養価を下げたくない。 今後も改良を重ね食べたいと思える物を作りたい。
2月15日	安全な調理作業に向けて	調理作業には、危険な器具(ガス火・包丁・カッター等)を取り扱うので危険が伴います。 衛生管理の7Sについて再学習し、安全な作業としたい。 特に整理・整頓ができていない、いつもと違う環境(床が濡れている等)で転ぶ危険もあります。 危険な器具使用中には集中し、作業工程と日々のルールを守り従事しましょう。
3月15日	嚥下調整食への取り組み(豆腐)	豆腐は離水しやすく誤嚥の危険があり、嚥下食には 調理・加工が必要と思われ取り組んでいます。 豆腐に色々な物を混ぜ、増粘剤で固めることで豆腐料理の バリエーションが広がります。又手軽にできるので作業時間 の短縮にもなります。

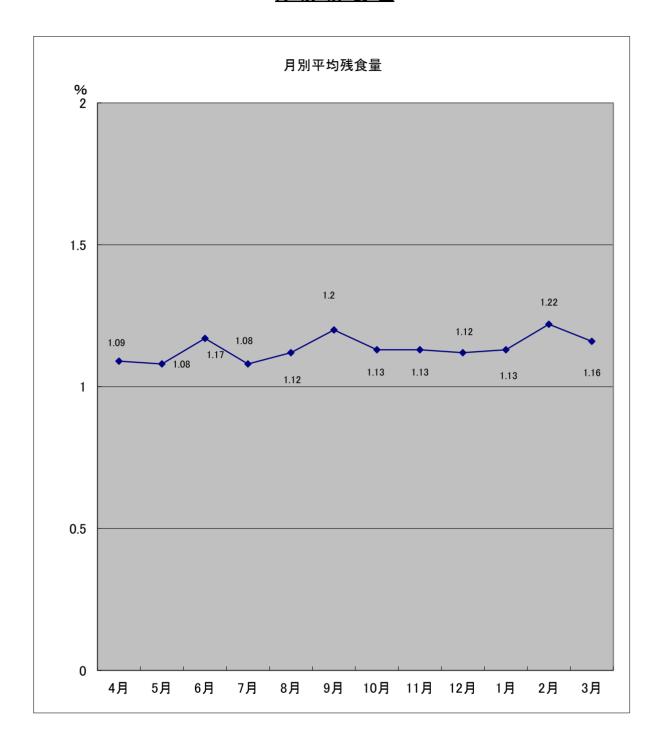
食 事 形態

主食	ĩ	飯	引	矧	ゼリー	ミキサー	达	給食人員	摘要
副食	普通	軟菜	軟菜	ゼリー	食	食	流動食	和及八貝	摘 安
4月	13	5	22	8	10	6	19	83	軟菜食の区分
5月	14	5	22	8	9	6	17	81	軟菜 … 咀嚼力低下者
6月	13	5	21	8	9	7	17	79	飯軟菜 … フルーツスライス可
7月	14	5	21	9	9	7	14	81	粥軟菜 … フルーツジュース
8月	15	5	21	8	10	7	14	80	ゼリ一食 … 嚥下力低下者
9月	14	5	21	9	11	9	15	82	高カロリーデザート
10月	15	5	22	8	10	7	14	81	ミキサー食 … 主食濃厚流動食
11月	12	4	21	8	10	6	16	76	副食ミキサー食
12月	15	4	23	8	9	6	16	82	流動食 … 経鼻胃管
1月	17	4	23	8	8	6	16	83	胃瘻
2月	18	4	23	8	9	6	16	86	
3月	17	4	22	7	10	7	14	83	
延べ人員	177	55	262	97	114	80	188	977	
平均	15	5	22	8	10	7	16	81	

特別食・補食

月月	ワーファリン食	糖尿食	減塩食	高加リー食	増粘剤 使用	摘 要
4月	3	11	1	6	19	増粘剤の使用量三段階
5月	3	10	1	6	18	(1g 2g 3g)
6月	3	11	1	7	18	
7月	3	13	1	7	20	
8月	3	13	1	7	21	
9月	3	13	1	7	22	
10月	3	13	1	8	21	
11月	3	13	1	8	20	
12月	3	13	1	8	20	
1月	3	16	1	7	18	
2月	3	17	1	6	20	
3月	3	17	1	5	21	
延べ人員	36	160	12	82	238	
平均	3	13	1	7	20	

月 別 残 食 量



月別平均残食量	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
(%)	1.09	1.08	1.17	1.08	1.12	1.2	1.13	1.13	1.12	1.13	1.22	1.16

令和4年度 短期入所生活介護 事業報告書

令和4年度 特別養護老人ホーム平安荘短期入所生活介護 事業報告書

【事業目的】

特別養護老人ホーム平安荘短期入所生活介護事業所は、介護保険法に従い、ご契約者 (利用者)が、その有する能力に応じ可能な限り自立した日常生活を営むことができるように支援することを目的として、ご契約者に、日常生活を営むために必要な居室及び共用施設等をご利用いただき、サービスを提供する。

【運営方針】

特別養護老人ホーム平安荘が行う短期入所生活介護の事業は、要介護状態、または、要支援状態と認定された高齢者及びご家族の方々と契約し、利用者一人ひとりの意思及び人格を尊重し、利用前の居宅における生活と利用中の生活が連続したものとなるよう配慮しながら、各ユニットにおいて利用者が相互に社会関係を築き、自律的な日常生活を営むことができるよう支援することにより、利用者の心身の機能維持並びに利用者・ご家族の身体的及び精神的負担の軽減を図る。

事業報告

1. 事業の運営

短期入所生活介護事業として、入所定員10床(1ユニット)で運営。

2. 利用者の確保

利用申込者及びそのご家族に対し、短期入所生活介護利用に伴う相談に応じながら利用時の施設生活に関する説明を行い理解を深めている。また居宅介護支援事業所等の関係機関と利用申込者の心身の状況及びご家族の状況(疾病、介護負担軽減、冠婚葬祭等)に関する情報交換し、新たな利用や定期的な利用に繋げている。また、満床日には退所時間と入所時間の調整を行い、利用しやすい受け入れ態勢を整えている。

3. 利用者の支援

(1) 相談・苦情

利用者及びそのご家族から利用に関するあらゆる相談・苦情に応じ、迅速かつ適切な対応で応じ、信頼関係の構築に努めている。

(2)介護

居宅介護支援サービス計画書に沿った短期入所介護サービス計画書を作成し、在宅生活と利用期間中の生活が連続となるよう支援している。また利用中の状況について、ご家族及び居宅の担当介護支援専門員と情報共有している。

(3) 看護

短期入所時の健康チェック、利用期間中の健康管理を行い、利用中に状態の変化があった際には、迅速な対応でご家族との連携を図っている。

(4) 給食

利用者個々の嗜好を把握しながら、四季折々の旬の食材を活かした給食を提供し、季節感のある食事ができるように努めている。また必要時には個人別把握による適切な治療等の提供を行っている。

(5) リスクマネジメント・身体拘束

今年度、短期利用中に起きた事故件数は2件あり、病院受診が必要な外傷事故として、 関係機関へ速やかに状況報告し、再発防止対策の徹底を図っている。

身体拘束に関しては、在宅生活の延長上やむ得ない状況での身体拘束対象となる利用 者はなかった。

4. 情報の公表

短期入所生活介護事業所としての事業運営や概要を知っていただけるよう介護保険法による「介護サービス情報の公表制度」等の活用や施設内でも常に閲覧できるようにしている。

5. 感染症予防·対策

10月に短期利用中の利用者1名から新型コロナウィルス感染が確認され、関係機関と連携した感染症対策を実施し、その後、新たな感染はなく、短期間で終息している。感染症対策実施期間中には、利用者及びご家族に説明し、理解を深めている。その他感染症に関しては、年間を通じ感染症予防に努め、インフルエンザ流行時期の利用にあたっては予防接種の協力を依頼している。

6. 防災訓練計画

毎月1回各種別の訓練を行い防災意識の高揚を図っている。年2回(6月14日、10月31日)の総合防災訓練及び夜間想定マニュアル訓練(12月6日) 実施時には報告書等で所轄消防署へ内容報告し連携を図っている。

7. 施設管理

(1) 環境整備

各部門で「整理・整頓・清潔」を徹底した業務の効率化を図っている。また、法人と連携し、利用者が住み心地のよさを感じる環境づくり、職員が業務とのオン・オフを切り替えることができる職場づくり等の環境整備に努めている。

(2) 適正な業務の推進

財務・経理・給与・労務管理・介護給付費の算定等適正な処理に努めている。

(3)書類の整備

法律に沿った諸記録の作成等、適正な書類整備を行っている。

(4) 備品管理

円滑な業務推進を図るため、備品の管理に努めている。

令和4年度 短期利用者状況報告

R5. 3. 31現在

※ 月別利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
1ヶ月間	204	226	179	211	240	218	192	131	168	220	232	262	2,483 人
1日平均	6.8	7. 3	5. 9	6.8	7. 7	7.3	6. 2	4. 4	5. 4	8.2	7.7	8.5	6.8 人

※ 市町村別利用状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
山田町	件数	31	29	21	27	35	33	15	14	23	26	26	33	313 件
TT1 TT1 m1	人数	184	223	165	192	265	217	182	131	168	216	252	251	2,446 人
大槌町	件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0 件
八個町	人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0 人
宮古市	件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0 件
百口川	人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0 人
釜石市	件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0 件
金石川	人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0 人
合 計	件数	31	29	21	27	35	33	15	14	23	26	26	33	313 件
	人数	184	223	165	192	265	217	182	131	168	216	252	251	2,446 人

※ 要介護度別利用状況

本 女	7.1 受尽					I	I	I	I		Ī	Ī			
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 言	+
要支援1	件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	件
安义饭1	人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	人
要支援2	件数	0	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	3	件
安义饭4	人数	0	0	0	9	5	0	0	0	0	0	0	0	14	人
要介護1	件数	5	4	4	3	2	3	4	2	5	4	5	4	45	件
安川 喪1	人数	24	18	20	20	20	22	36	21	27	31	30	29	298	人
要介護2	件数	17	16	13	13	19	16	6	8	10	12	13	20	163	件
安川 喽4	人数	112	135	104	111	134	93	84	64	72	97	100	140	1, 246	人
要介護3	件数	4	6	3	5	6	6	3	1	3	3	3	6	49	件
女月 曖り	人数	43	64	43	48	38	44	39	15	24	24	27	44	453	人
要介護4	件数	5	2	2	4	5	7	2	2	5	6	5	3	48	件
女月 曖年	人数	25	18	13	21	54	56	33	31	45	73	77	51	497	人
要介護5	件数	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	2	件
安川 喪り	人数	0	0	0	0	3	2	0	0	0	0	0	0	5	人
合 計	件数	31	28	22	27	34	33	15	13	23	25	26	33	310	件
	人数	204	235	180	209	254	217	192	131	168	225	234	264	2, 513	人

令和4年度 平安荘デイサービスセンター 事業報告書

令和4年度 平安荘デイサービスセンター 事業報告書

【事業目的】

社会福祉法人正受会が運営する平安荘デイサービスセンターが行う指定通所介護の事業の適正な運営を確保するために人員及び管理運営に関する事項を定め、要支援及び要介護状態にある高齢者に対し、適正な通所介護を提供することを目的とする。

【運営方針】

- 1. 通所介護の提供にあたっては、要介護者の心身の特性を踏まえて、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、必要な日常生活上の世話及び機能訓練の援助を行うことによって、利用者の社会的孤立感の解消及び心身機能の維持並びに利用者の家族の身体的及び精神的負担の軽減を図る。
- 2. 事業の実施にあたっては、居宅介護支援事業者、関係市町村、地域の保健・医療・ 福祉サービスとの綿密な連携を図り、総合的なサービスの提供に努めるものとする。
- 3. 地域包括支援センター、居宅介護支援事業者、サービス事業者、医療機関と連携を 図り、地域包括ケアシステムの推進に向け取り組む。

事 業 報 告

1. 事業の運営

通所介護事業として、定員20名で運営。

2. 利用者の確保

利用申込者及びそのご家族に対しては、通所介護利用に伴う相談に応じながら運営内容に関する説明を行い理解を深めると共に居宅介護支援事業所等の関係機関と利用申込者の心身の状況及びご家族の状況に関する情報交換を積極的に行い、新たな利用に繋げている。また、各曜日ごとの登録者数を増やし柔軟な利用受け入れ態勢を整えている。

3. 職場の人材育成

- (1) 研修や日常の指導において適切な挨拶・対人マナーを身に付け人間性を磨き、利用者及び家族、職員間、外部関係者への接遇に結びつけるよう努めている。
- (2)職場全体で積極的にリスクマネジメント活動に取り組み、職員各人が利用者の安全に対する意識を常に持ちながら支援できるように努めている。
- (3)職員の育成は、PDCAサイクルでの指導方式で実践し、職員各人に目指すべき姿 (役割や取り組み)を方向づけ、行動評価を行いながら、施設職員としての期待像に 向けた育成を図っている。
- (4) コロナ状況により施設外研修への参加はできなかったが、施設内での研修により知識や能力及び技術向上に努めている。

4. 利用者の支援

- (1) 利用者の心身の状況や、その置かれている環境を考慮し、通所介護計画書や個別援助計画書を作成し、日常生活上の支援や身体機能の維持向上などの目標達成のためのサービス提供に努めている。
- (2) 利用者が安心して自立した生活を送れるよう、介護計画の説明をしながらサービス 評価及びモニタリングを行い、一人ひとりの状態に沿った支援に努めている。
- (3) レクリエーション・行事・趣味活動を通じて生活機能訓練を実施し、日常生活上での動作の現状維持・向上を図っている。
- (4) サービス事業の評価を行い、所内研修等でサービスの質の向上を図っている。
- (5) 利用者からの相談苦情や要望があった際には、迅速に対応し信頼関係を築けるよう 努めている。
- (6) 利用者の現病や既往歴を把握した上で利用中の健康チェックに努めている。
- (7) 利用者の嗜好を把握しながら栄養バランスの取れた食事や四季折々の旬の素材を活かした食事を提供している。また食事前には嚥下体操を行い、スムーズに飲み込みし美味しく食事が摂れるよう努めている。

5. 情報公開

通所介護事業所としての事業運営や概要を知っていただけるよう介護保険法による 「介護サービス情報の公表制度」等を活用すると共に所内でも常に閲覧できるようにし ている。

6. 職員の健康管理

職員に対し健康診断(3月1日)、インフルエンザ予防接種施行等を実施し、職員の健康 管理及び把握に努めている。

7. 感染症予防・対策

新型コロナウィルス感染症に関しては、特別養護老人ホーム平安荘と連携し対策を随時検討し、利用者及びご家族への説明しながら理解を深め実施している。また、年間を通し食中毒や感染症予防に努め、インフルエンザ流行時期の利用にあたっては予防接種の協力を依頼している。

8. 防災訓練の実施

特別養護老人ホーム平安荘の防災訓練計画に沿い、年2回の総合防災訓練と各種訓練 に合同参加し、防災意識の高揚を図っている。

9. 施設管理

業務の効率化や利用者のための環境づくり等の環境整備に努めている。また特別養護 老人ホーム平安荘と連携し、適正な業務推進・書類整備・備品管理を行っている。

【事業実績】

令和4年度登録者利用延人数は、介護給付4,151人、通所型サービス179人、1日平均利用者16.7人であり、令和5年3月31日現在の登録者数は68人(介護給付64人、通所型サービス4人)。

< 登録者及び要介護度内訳 >

令和5年3月31日現在

通所	介護	-	通所型サービス	
登録者	64人	登録者	4人	
要介護度	人数	要支援	人数	
5	1人	2	3人(内、事業対象者0人)	
4	5人	1	1人(内、事業対象者0人)	
3	17人		.	
2	27人	※事業対象者	↑ = 要支援1・2のどちらにも該当し	な
1	14人		いが、身体等の現状維持のため	りの
平均介護	隻度=2.1		サービスを利用している方	

1. 1日のサービス状 (月曜日~金曜日)

 8:15
 9:30
 12:00
 13:15
 15:31

 健康チェック
 趣味活動

 お迎え
 生活指導(対話)
 昼食・休養
 日常動作訓練

2. 利用者の状況

①月別利用者状況 (通所型サービス(独自))

	(上) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1	1.0100	週月至り -	し // () () (四日)	/									
	区 分	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合 計
介	護給付登録者数	63	61	61	63	65	64	66	65	64	64	63	64	
通列	「型サービス登録者数	3	4	4	4	5	6	5	5	5	4	4	4	
	施設開設日数	21	22	22	21	23	22	21	22	22	20	20	23	259
F	間利用延人数	326 (8)	319 (14)	366 (16)	346 (10)	366 (16)	365 (16)	345 (18)	343 (12)	338 (23)	327 (13)	330 (15)	380 (18)	4,151 (179)
1	日平均利用者数	15.9	15.1	17.3	16.9	16.6	17.3	17.2	16.1	16.4	17.0	17.2	17.3	16.7
サ	入浴サービス	315 (8)	302 (14)	356 (16)	340 (10)	342 (16)	333 (16)	314 (18)	320 (12)	301 (23)	305 (13)	301 (15)	344 (18)	3,873 (179)
	給食サービス	326 (8)	319 (14)	366 (16)	346 (10)	366 (16)	365 (16)	345 (18)	343 (12)	338 (23)	327 (13)	330 (15)	380 (18)	4,151 (179)
レス	生活指導	326 (8)	319 (14)	366 (16)	346 (10)	366 (16)	365 (16)	345 (18)	343 (12)	338 (23)	327 (13)	330 (15)	380 (18)	4,151 (179)
別	日常動作訓練	326 (8)	319 (14)	366 (16)	346 (10)	366 (16)	365 (16)	345 (18)	343 (12)	338 (23)	327 (13)	330 (15)	380 (18)	4,151 (179)
利用	養護	326 (8)	319 (14)	366 (16)	346 (10)	366 (16)	365 (16)	345 (18)	343 (12)	338 (23)	327 (13)	330 (15)	380 (18)	4,151 (179)
人	健康チェック	326 (8)	319 (14)	366 (16)	346 (10)	366 (16)	365 (16)	345 (18)	343 (12)	338 (23)	327 (13)	330 (15)	380 (18)	4,151 (179)
数	送迎サービス	317 (8)	292 (14)	326 (16)	319 (10)	331 (16)	327 (16)	303 (18)	301 (12)	379 (23)	286 (13)	286 (15)	332 (18)	3,799 (179)
7	目談・苦情受付	7	5	5	3	2	5	2	3	3	3	2	3	43

②登録者の世帯状況 (介護予防登録者 4 名)

R5年3/31現在

<u> </u>		() N)	± 117	
	家族と同居	老夫婦	独 居	計
男 性	7 名(0)	6 名(0)	1 名(0)	14 名(0)
女 性	34 名(1)	4 名(1)	12 名(2)	50 名(4)
計	41 名(1)	10 名(1)	13 名(2)	64 名(4)

③登録者年齢構成表 (通所型サービス独自

R5年3	101	TH	-

④地区別	登録者状	况 (通	通所型サー	・ビス独自	() R	5年3/31現在
区分地区名	男	性	女	性	合	計
豊間根	0 名(0名)	1 名(0名)	1 名(0 名)
大沢	1 名(0名)	10 名(1名)	11 名(1名)
山田	6 名(0 名)	19 名(2名)	25 名(2 名)

0名) 14名(

0 名) 50 名 (

0 名)

年 齢 区 分	男性	女性	合計
6 0 歳 未 満	0 名(0名)	0 名(0名)	0 名(0名)
61 歳 ~ 64 歳	0 名(0名)	0 名(0名)	0 名(0名)
65 歳 ~ 69 歳	0 名(0名)	0 名(0名)	0 名(0名)
70 歳 ~ 74 歳	3 名(0名)	1 名(1名)	4 名(1名)
75 歳 ~ 79 歳	2 名(0名)	6 名(0名)	8 名(0名)
80 歳 ~ 84 歳	4 名(0名)	13 名(2名)	17 名(2名)
85 歳 ~ 89 歳	3 名(0名)	11 名(1名)	14 名(1名)
90 歳 ~ 94 歳	1 名(0名)	13 名(0名)	14 名(0名)
9 5 歳 未 以 上	1 名(0名)	6 名(0名)	7 名(0名)
1	14 名(0 名)	50 名(4名)	64 名(4名)

⑤年間曜日別地区平均利用者状況(通所型サービス独自含む)

曜日	地区名	平均利用者人数
月	豊間根、大沢、山田、織笠、船越	17.2 名
火	大沢、山田、織笠、船越、大浦	15.9 名
水	大沢、山田、織笠、田の浜、大浦	16.8 名
木	大沢、山田、織笠、船越	16.8 名
金	豊間根、山田、船越、大浦、田の海	17.7 名

⑥利用者の日常動作(ADL) (通所型サービス独自) R5年3/31現在

6 名(

1名) 11名

0名)16名(

4名)64名

4名)

	自	立	一部介助	全 介 助
歩行(移動) 13 名 (3名)	36 名(1名)	15 名 (0)
食 事	事 56 名 (4名)	7 名(0名)	1 名(0)
入	9 0 名(0名)	54 名 (4 名)	10 名 (0)
着腿	27 名(4名)	32 名(0名)	5 名(0)
排	世 36 名 (4名)	21 名(0名)	7 名(0)
洪 耂			<u> </u>	

備 孝

織笠

船越

- ・リハビリパンツ 24 名 (0名) ・オムツ使用 名 (0名)
- 車椅子使用 18 名 (0名)

2 名(

14 名(

		(月段	是了的金娜石 4名)		R5年3/31現在
	ランク	男性	女 性	合 計	備考
	自立	1 名(0名)	2 名(1名)	3 名(1名)	
生活自立	J 1	1 名(0名)	2 名(1名)	3 名(1名)	
工佰日工	J 2	2 名(0名)	14 名(2名)	16 名(2名)	
	計	4 名(0名)	18 名(4名)	22 名(4名)	
	A 1	6 名(0名)	13 名 (0 名)	19 名(0名)	
準寝たきり	A 2	2 名(0名)	8 名(0名)	10 名(0名)	
	計	8 名(0名)	21 名(0名)	29 名(0名)	
	B 1	2 名(0名)	3 名(0名)	5 名(0名)	
	В 2	0 名(0名)	4 名(0名)	4 名(0名)	
寝たきり	計	2 名(0名)	7 名(0名)	9 名(0名)	
1,27007	C 1	0 名(0名)	2 名(0名)	2 名(0名)	
	C 2	0 名(0名)	2 名(0名)	2 名(0名)	
	計	0 名(0名)	4 名(0名)	4 名(0名)	
合	計	14 名 (0 名)	50 名(4名)	64 名(4名)	

⑦認知症高齢者の日常生活自立度判定基準集計価

R5年3/31現在

項目	男 性	女 性	合 計	備考
自立	1 名(0名)	9 名(2名)	10 名(2名)	
認 知 I	1 名(0名)	13 名(2名)	14 名(2名)	
認 知 Ⅱ a	6 名(0名)	7 名(0名)	13 名(0名)	
認 知 Ⅱ b	3 名(0名)	10 名 (0 名)	13 名(0名)	
認 知 Ⅲ a	2 名(0名)	7 名(0名)	9 名(0名)	
認 知 Ⅲ b	1 名(0名)	2 名(0名)	3 名(0名)	
認 知 IV	0 名(0名)	1 名(0名)	1 名(0名)	
認 知 M	0 名(0名)	1 名(0名)	1 名(0名)	
合計	14 名 (0 名)	50 名(4名)	64 名(4名)	

3. 日常活動実施報告 No.1

$\ddot{\nabla}$	<u>日 </u>	活動内容	日付	™ NO.1
\vdash		筒送りゲーム	□ 11	地名城 空沙社
		魚釣りゲーム	6	ケアカンファレンス
		風船バレー	12, 14	ケアカンファレンス
4		誕生会・趣味活動	12, 14 25	職員会議
月	\sim 29	糸巻き巻きゲーム	27	第1回院内研修
	0 0	a ² 사기본 · · · ·		
		ポイントゲットゲーム	10 10	
		的当てゲーム	10、12	ケアカンファレンス
5		ドライブ、開いて並び替えゲーム	19	ケアカンファレンス
		ドライブ、誕生会・趣味活動	23	第2回院内研修
月	30 ∼	カラーOn theパズルゲーム	25	職員会議
		7-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1		
		平安荘開所記念式典		
		カラーOn theパズルゲーム	5 .0	
		カーリングゲーム ボーリングゲーム	7,9	ケアカンファレンス
6		誕生会・個別活動	14 21, 23	ケアカンファレンス ケアカンファレンス
	40 - 44		21, 23	職員会議
月	27 ~	ゴルフゲーム	27	第3回院内研修
]	, , , , , ,	21	NA 2 MAI 1 AM IS
	~ 1	ゴルフゲーム		
		輪投げ	5,7	ケアカンファレンス
		七夕会		
7		輪っか送りゲーム	12, 13	ケアカンファレンス
月		誕生会		
/1		スイカ陣取りゲーム	19, 20	ケアカンファレンス
		梅ジュース作り	25	職員会議
		誕生会•個別活動	27	第4回院内研修
		玉入れゲーム	4	ケアカンファレンス
		カラオケ・ビデオ鑑賞	9, 11	ケアカンファレンス
8		誕生会•畑作業	16, 18	ケアカンファレンス
0		夏祭り		
月		カラオケ・ビデオ鑑賞、輪投げ	23	ケアカンファレンス
	29 ~	輪投げ	29	職員会議
				第5回院内研修
		BB Alfee End.		
	19	関口剣舞見物	6, 8, 22	ケアカンファレンス
9		誕生会	22	職員会議
	26, 27	畑作業		
月		※玉入れゲーム、トランプゲーム、カラオケ		
		輪投げ、機能訓練等を日ごとに各利用者	Ī	
		の希望を伺いながら実施		

17、19 誕生会 13、14、28 ドライブ 10 10	
13、14、28 ドライブ 6、11、13、18 ケアカンファレン 職員会議 第7回院内研修 ※玉入れゲーム、脳トレ、カラオケ 装飾作り、機能訓練等を日ごとに 各利用者の希望を伺いなが 5実施 3、8、10、22 ケアカンファレンス 株	
10	
10 月 ※玉入れゲーム、脳トレ、カラオケ 装飾作り、機能訓練等を日ごとに 各利用者の希望を伺いなが ら実施 第7回院内研修 1, 17 誕生会 4、7 ドライブ 4、7 ドライブ ※脳トレ、カラオケ、トランプ・オセロ 輪投げ、機能訓練等を日ごとに 各利用者の希望を伺いなが ら実施 3、8、10、22 ケアカンファレンス 職員会議 第8回院内研修 9 延生会 クリスマス会(中央保育園との交流) クリスマス会 (中央保育園との交流) 26、27、29 23 クリスマス会 第つシ会会 第一日 ※玉入れゲーム、お手玉ボッチャ、輪投げ 機能訓練等を日ごとに各利用者の希望 望を伺いなが実施 1、6、7、13 ケアカンファレンス 26、27、29 職員会議 第9回院内研修 12 26~30 忘年会 30 餅つき会 ※玉入れゲーム、お手玉ボッチャ、輪投げ 機能訓練等を日ごとに各利用者の希望 望を伺いなが実施 4 ~ 6 正月遊び 11、12、17 19、20、24 4 ~ 6 正月遊び 11、12、17 19、20、24 26、30 勝員会議 1 13 水木団子作り ※カラオケ、ボッチャ、輪投げ、脳トレ 25 職員会議	
10 月 ※玉入れゲーム、脳トレ、カラオケ 装飾作り、機能訓練等を日ごとに 各利用者の希望を伺いなが ら実施 第7回院内研修 1, 17 誕生会 4、7 ドライブ 4、7 ドライブ ※脳トレ、カラオケ、トランプ・オセロ 輪投げ、機能訓練等を日ごとに 各利用者の希望を伺いなが ら実施 3、8、10、22 ケアカンファレンス 職員会議 第8回院内研修 9 延生会 クリスマス会(中央保育園との交流) クリスマス会 (中央保育園との交流) 26、27、29 23 クリスマス会 第つシ会会 第一日 ※玉入れゲーム、お手玉ボッチャ、輪投げ 機能訓練等を日ごとに各利用者の希望 望を伺いなが実施 1、6、7、13 ケアカンファレンス 26、27、29 職員会議 第9回院内研修 12 26~30 忘年会 30 餅つき会 ※玉入れゲーム、お手玉ボッチャ、輪投げ 機能訓練等を日ごとに各利用者の希望 望を伺いなが実施 4 ~ 6 正月遊び 11、12、17 19、20、24 4 ~ 6 正月遊び 11、12、17 19、20、24 26、30 勝員会議 1 13 水木団子作り ※カラオケ、ボッチャ、輪投げ、脳トレ 25 職員会議	
月 装飾作り、機能訓練等を日ごとに各利用者の希望を伺いながら実施 3、8、10、22 ケアカンファレンス報員会議第8回院内研修 11 誕生会 4、7 ドライブ 25 職員会議第8回院内研修 11 ※脳トレ、カラオケ、トランプ・オセロ輪投げ、機能訓練等を日ごとに各利用者の希望を伺いながら実施 1、6、7、13 ケアカンファレンスのを、第8回院内研修 12 クリスマス会(中央保育園との交流) 26、27、29 26 第9回院内研修 12 26~30 忘年会 27 第9回院内研修 30 併つき会 ※玉入れゲーム、お手玉ボッチャ、輪投げ機能訓練等を日ごとに各利用者の希望望を伺いなが実施第9回院内研修 4 新年交賀会 11、12、17 19、20、24 26、30 1 第9 誕生会 7、29 第9回院内研修 1 30 新年交賀会 11、12、17 19、20、24 26、30 1 30 ※カラオケ、ボッチャ、輪投げ、脳トレ 25 職員会議	
月 各利用者の希望を伺いながら実施 1,17 誕生会 4、7 3、8、10、22 5 8月会議 第8回院内研修 11 月 ※脳トレ、カラオケ、トランプ・オセロ輪投げ、機能訓練等を日ごとに各利用者の希望を伺いながら実施 1、6、7、13 28 次アカンファレンス 28 12 26、27、29 23 7リスマス会 26 27 26 30 第9回院内研修 26、27、29 26 27 26 27 職員会議 第9回院内研修 12 26、27、29 26 27 26 27 第9回院内研修 4 4 ~ 6 9 1 正月遊び 9 1 13 水木団子作り 6、9、10 11、12、17 19、20、24 26、30 ケアカンファレン 11、12、17 19、20、24 26、30 月 ※カラオケ、ボッチャ、輪投げ、脳トレ 25 職員会議	
1,17 誕生会 4、7 3、8、10、22 ケアカンファレンス 25 職員会議 第8回院内研修 11 月 ※脳トレ、カラオケ、トランプ・オセロ 輪投げ、機能訓練等を日ごとに 各利用者の希望を伺いなが ら実施 1、6、7、13 26、27、29 23 クリスマス会 26、27、29 26 27 瀬員会議 第9回院内研修 12 26~30 忘年会 30 餅つき会 ※玉入れゲーム、お手玉ボッチャ、輪投げ 機能訓練等を日ごとに各利用者の希望 望を伺いなが実施 27 瀬阜会議 第9回院内研修 1、1、12、17 19、20、24 26、30 4 不6 正月遊び 9 誕生会 1 13 水木団子作り 6、9、10 11、12、17 19、20、24 26、30 ケアカンファレン 11、12、17 19、20、24 26、30 月 ※カラオケ、ボッチャ、輪投げ、脳トレ 25 職員会議	
1, 17 誕生会 3、8、10、22 ケアカンファレンス 職員会議 第8回院内研修 ※脳トレ、カラオケ、トランプ・オセロ 輪投げ、機能訓練等を日ごとに 各利用者の希望を伺いなが ら実施 1、6、7、13 ケアカンファレンス 21 クリスマス会 (中央保育園との交流) 23 クリスマス会 (中央保育園との交流) 26、27、29 26 第9回院内研修 第9回院内研修 横能訓練等を日ごとに各利用者の希望 望を伺いなが実施 4 ~ 6 正月遊び 1、1、1、2、17 19、20、24 26、30 別 水木団子作り ※カラオケ、ボッチャ、輪投げ、脳トレ 25 職員会議 第	
11 4、7 ドライブ 25 職員会議第8回院内研修 ※脳トレ、カラオケ、トランプ・オセロ輪投げ、機能訓練等を日ごとに各利用者の希望を伺いながら実施 輪投げ、機能訓練等を日ごとに各利用者の交流) 26、27、29 26、27、29 26 1、6、7、13 26、27、29 26 対フスマス会 26、27、29 26 職員会議第9回院内研修 12 26~30 忘年会解のき会※玉入れゲーム、お手玉ボッチャ、輪投げ機能訓練等を日ごとに各利用者の希望望を伺いなが実施 27 第9回院内研修 4 不 6 正月遊び 9 誕生会水木団子作り 13 水木団子作り ※カラオケ、ボッチャ、輪投げ、脳トレ 25 職員会議 月 ※カラオケ、ボッチャ、輪投げ、脳トレ 25 職員会議	
11 4、7 ドライブ 25 職員会議第8回院内研修 ※脳トレ、カラオケ、トランプ・オセロ輪投げ、機能訓練等を日ごとに各利用者の希望を伺いながら実施 輪投げ、機能訓練等を日ごとに各利用者の交流) 26、27、29 26、27、29 26 1、6、7、13 26、27、29 26 対フスマス会 26、27、29 26 職員会議第9回院内研修 12 26~30 忘年会解のき会※玉入れゲーム、お手玉ボッチャ、輪投げ機能訓練等を日ごとに各利用者の希望望を伺いなが実施 27 第9回院内研修 4 不 6 正月遊び 9 誕生会水木団子作り 13 水木団子作り ※カラオケ、ボッチャ、輪投げ、脳トレ 25 職員会議 月 ※カラオケ、ボッチャ、輪投げ、脳トレ 25 職員会議	
11 ※脳トレ、カラオケ、トランプ・オセロ 輪投げ、機能訓練等を日ごとに 各利用者の希望を伺いながら実施 1、6、7、13 ケアカンファレンス 26、27、29 26 26、27、29 26 30 応年会 30 餅つき会 ※玉入れゲーム、お手玉ボッチャ、輪投げ機能訓練等を日ごとに各利用者の希望望を伺いなが実施 1、6、7、13 ケアカンファレンス 26、27、29 26 30 万リスマス会 26 27 第9回院内研修 12 26~30 応年会 30 所年交資会 ※玉入れゲーム、お手玉ボッチャ、輪投げ機能訓練等を日ごとに各利用者の希望望を伺いなが実施 27 第9回院内研修 4 新年交資会 正月遊び 11、12、17 19、20、24 26、30 外、木団子作り ※カラオケ、ボッチャ、輪投げ、脳トレ 25 職員会議	
11 ※脳トレ、カラオケ、トランプ・オセロ 輪投げ、機能訓練等を日ごとに 各利用者の希望を伺いながら実施 1、6、7、13 ケアカンファレンス 26、27、29 26、27、29 26 30 5年会 30 所令を会 ※玉入れゲーム、お手玉ボッチャ、輪投げ機能訓練等を日ごとに各利用者の希望望を伺いなが実施 1、6、7、13 ケアカンファレンス 26、27、29 26 30 5年会 27 第9回院内研修 月 4 新年交賀会 正月遊び 11、12、17 19、20、24 26、30 水木団子作り ※カラオケ、ボッチャ、輪投げ、脳トレ 25 職員会議	
11	
月 輪投げ、機能訓練等を日ごとに各利用者の希望を伺いながら実施 9 誕生会 クリスマス会(中央保育園との交流) 23 クリスマス会 26、27、29 23 クリスマス会 30 原子会 30 解りつき会 ※玉入れゲーム、お手玉ボッチャ、輪投げ機能訓練等を日ごとに各利用者の希望望を伺いなが実施 27 第9回院内研修 月 4 新年交賀会 4 ~ 6 正月遊び 9 誕生会 1 13 水木団子作り 6、9、10 ケアカンファレン 11、12、17 19、20、24 26、30 月 ※カラオケ、ボッチャ、輪投げ、脳トレ 25 職員会議	
月 各利用者の希望を伺いながら実施 9 誕生会 クリスマス会(中央保育園との交流) 26、27、29 26、27、29 12 26~30 忘年会 30 併つき会 ※玉入れゲーム、お手玉ボッチャ、輪投げ機能訓練等を日ごとに各利用者の希望望を伺いなが実施 4 新年交賀会 4~6、9、10 11、12、17 9 延生会 15 減生会 17 19、20、24 26、30 財員会議	
9 誕生会 クリスマス会(中央保育園との交流) 23 26~30 忘年会 30 併つき会 ※玉入れゲーム、お手玉ボッチャ、輪投げ機能訓練等を日ごとに各利用者の希望望を伺いなが実施 4 新年交賀会 在日遊び 11、12、17 19、20、24 26、30 財子オケ、ボッチャ、輪投げ、脳トレ 25 職員会議 第9会議 ※カラオケ、ボッチャ、輪投げ、脳トレ 25 職員会議 27 第9回院内研修 第9回院内研修 11、12、17 19、20、24 26、30 財員会議 第9回院内研修 11、12、17 19、20、24 26、30 財員会議 第9回院内研修 11、12、17 19、20、24 26、30 30 30<td></td>	
9 誕生会 1、6、7、13 ケアカンファレンス 21 クリスマス会(中央保育園との交流) 26、27、29 職員会議 12 26~30 忘年会 26 職員会議 30 餅つき会 ※玉入れゲーム、お手玉ボッチャ、輪投げ機能訓練等を日ごとに各利用者の希望望を伺いなが実施 6、9、10 ケアカンファレン 4 新年交賀会 6、9、10 ケアカンファレン 1 月 証月遊び 11、12、17 19、20、24 26、30 月 ※カラオケ、ボッチャ、輪投げ、脳トレ 25 職員会議	
21 クリスマス会(中央保育園との交流) 26、27、29 12 26~30 忘年会 26 職員会議 30 餅つき会 ※玉入れゲーム、お手玉ボッチャ、輪投げ機能訓練等を日ごとに各利用者の希望望を伺いなが実施 6、9、10 ケアカンファレン 4 新年交賀会 11、12、17 9 誕生会 19、20、24 1 13 水木団子作り 26、30 月 ※カラオケ、ボッチャ、輪投げ、脳トレ 25 職員会議	
21 クリスマス会(中央保育園との交流) 26、27、29 12 26~30 忘年会 26 職員会議 30 餅つき会 ※玉入れゲーム、お手玉ボッチャ、輪投げ機能訓練等を日ごとに各利用者の希望望を伺いなが実施 6、9、10 ケアカンファレン 4 新年交賀会 11、12、17 9 誕生会 19、20、24 1 13 水木団子作り 26、30 月 ※カラオケ、ボッチャ、輪投げ、脳トレ 25 職員会議	
12 23 クリスマス会 26 職員会議 12 26~30 忘年会 第9回院内研修 月 ※正入れゲーム、お手玉ボッチャ、輪投げ機能訓練等を日ごとに各利用者の希望望を伺いなが実施 6、9、10 ケアカンファレンコート・カート・カート・カート・カート・カート・カート・カート・カート・カート・カ	
12 26~30 忘年会 27 第9回院内研修 月 ※玉入れゲーム、お手玉ボッチャ、輪投げ機能訓練等を日ごとに各利用者の希望望を伺いなが実施 6、9、10 ケアカンファレン11、12、17 り 延生会 13 水木団子作り 26、30 カラオケ、ボッチャ、輪投げ、脳トレ 25 職員会議	
月 30 餅つき会 ※玉入れゲーム、お手玉ボッチャ、輪投げ 機能訓練等を日ごとに各利用者の希望 望を伺いなが実施 6、9、10 ケアカンファレン 1、12、17 9 誕生会 13 水木団子作り ケアカンファレン 11、12、17 19、20、24 26、30 月 ※カラオケ、ボッチャ、輪投げ、脳トレ 25 職員会議	
月 30 餅つき会 ※玉入れゲーム、お手玉ボッチャ、輪投げ 機能訓練等を日ごとに各利用者の希望 望を伺いなが実施 6、9、10 ケアカンファレン 1、12、17 9 誕生会 13 水木団子作り ケアカンファレン 11、12、17 19、20、24 26、30 月 ※カラオケ、ボッチャ、輪投げ、脳トレ 25 職員会議	
月 ※玉入れゲーム、お手玉ボッチャ、輪投げ 機能訓練等を日ごとに各利用者の希望 望を伺いなが実施 6、9、10 ケアカンファレン 11、12、17 9 誕生会 13 水木団子作り ケアカンファレン 11、2、17 19、20、24 26、30 月 ※カラオケ、ボッチャ、輪投げ、脳トレ 25 職員会議	
機能訓練等を日ごとに各利用者の希望 望を伺いなが実施 4 新年交賀会 4 ~ 6 正月遊び 1 13	
望を伺いなが実施 6、9、10 ケアカンファレン 4 本 6 正月遊び 11、12、17 9 誕生会 19、20、24 1 水木団子作り 26、30 月 ※カラオケ、ボッチャ、輪投げ、脳トレ 25 職員会議	
4 新年交賀会 6、9、10 ケアカンファレン 4 ~ 6 正月遊び 11、12、17 9 誕生会 19、20、24 13 水木団子作り 26、30 月 ※カラオケ、ボッチャ、輪投げ、脳トレ 25 職員会議	
4 ~ 6 正月遊び 11、12、17 9 誕生会 19、20、24 13 水木団子作り 26、30 月 ※カラオケ、ボッチャ、輪投げ、脳トレ 25 職員会議	
1 9 誕生会 19、20、24 水木団子作り 26、30 ※カラオケ、ボッチャ、輪投げ、脳トレ 25 職員会議	ス
1 13 水木団子作り 26、30 月 ※カラオケ、ボッチャ、輪投げ、脳トレ 25 職員会議	
月 13 水木団子作り 26、30 月 ※カラオケ、ボッチャ、輪投げ、脳トレ 25 職員会議	
月 ※カラオケ、ボッチャ、輪投げ、脳トレ 25 職員会議	
※カラオケ、ボッチャ、輪投げ、脳トレ 25 職員会議	
機能訓練等を日ごとに各利用者の希望 26 第10回院内研修	
望を伺いなが実施 2、7、8 ケアカンファレンス	
21、27 誕生会 14、21、22	
28 ドライブ 28	
月 一 一 一 一 一 一 一 一 一	
望を伺いなが実施	
三で円パ なが大心	
8 ドライブ 2、8、9、14 ケアカンファレン	7
16、24 誕生会 27 職員会議	ス
28 第12回院内研修	Z
3 ※ボッチャ、輪投げ、脳トレ、ビデオ鑑賞	Z
W-45到以本がよ。ロブルテク 和 田 老 の ろ 神	Z
月 機能訓練等を口ことに各利用者の希望	X
三と門('なが大肥	Z
	Z
	Z

[※]その他、天候をみて適宜荘外散歩を実施している。

令和4年度 平安荘居宅介護支援事業所 事業報告書

令和4年度 平安荘指定居宅介護支援事業所実施報告書

平安荘指定居宅介護支援事業所は、運営方針のもと利用者の意思や人格を尊重するよう努めながら、利用者の心身状態・生活環境に応じて、ご家族・利用者の選択に基づき適切な保健・医療・福祉サービスが、多様なサービス事業所から効果的に提供されるようサービス支援を実施している。

【実施項目】

1. 利用者の確保

前年度末の登録者15名だったが、地域包括支援センターや地域の方に呼びかけ、紹介や申し込みを頂き、また他事業所からの引継ぎもあり、登録者は増えてきている。更に利用者が確保できるよう、地域包括支援センターや他事業所と連携を図り対応している。

〇 登録者状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
登	録	15	17	17	17	18	18	18	18	19	21	20	27
新規	登録	2	0	0	2	0	0	0	1	2	0	7	0
登録	抹消	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0
合	計	17	17	17	18	18	18	18	19	21	20	27	27

2. 更新・区分変更申請代行・訪問調査

利用者・ご家族から申請の希望を伺い、要介護更新認定申請7件、区分変更申請3件を行い支援し、山田町依頼により訪問認定調査9件行っている。

3. 在宅介護支援

利用者やご家族が住み慣れた環境で、さらに利便性や安全性を確保できるように行政機関との連携を図り、福祉用具購入費や住宅改修費の支給申請を行っており、利用者やご家族の意向を確認し在宅サービス(通所介護、福祉用具貸与、訪問介護、訪問看護、通所リハビリ、短期入所生活介護等)を活用にて支援している。

4. 居宅サービス計画(ケアプラン)作成と変更計画の支援

利用者及びご家族と面接を行い、解決すべき課題を把握し支援サービスについての要望や意向を確認にて、認定・更新・サービス変更時にサービス担当者会議の開催、各サービス事業所と情報共有図りケアプラン作成を行っている。

5. サービス計画の実施・経過観察・再評価

利用者及びご家族と月1回以上の面接を行い、サービス事業者との連絡や随時の情報共有、モニタリングにより、居宅サービス計画の目標に沿った支援に努めた。サービス提供事業所数は12事業所となっている。

サービス提供事業所

山田町社会福祉協議会指定訪問介護事業所

株式会社翼 つばさ支援センター山田指定訪問介護事業所

有限会社山﨑タクシー指定訪問介護事業所

宮古・山田訪問看護ステーションゆずる

近藤医院 リハビリデイケアセンター

株式会社TAKUMIコーポレーション指定福祉用具貸与事業所

株式会社ケア・テック宮古営業所 在宅医療と介護用品

株式会社ウェルネスコーポレーション釜石営業所指定福祉用具貸与事業所

第一商事株式会社レディーズ・アイ事業部三陸営業所

介護老人保健施設さくら山 療養介護

平安荘指定短期入所生活介護

平安荘デイサービスセンター

6. 施設入所支援

居宅での支援サービスの提供により自宅での生活が継続できており、将来的に介護老人福祉施設入所との相談があったが要介護度も低く、本人とご家族の意向も一致しておらず、今後相談していく事で対応している。介護老人保健施設・グループホーム等の入所希望はなく、今後希望があった際には施設の紹介やその他の便宜の提供を行っていきたい。

7. 入退院支援

コロナ禍での退院カンファレンスの開催はなかなか行えないが、医療機関との連絡・情報共有により連携を図り、ご家族とも連絡や意向の確認に努め在宅支援を行っている。

8. 給付管理

居宅サービス計画内容に基づき、各サービス提供事業所からの実績と照らし合わせ、介 護給付費を適正に算定し処理した。

9. 相談・苦情対応

利用者及びご家族からの相談・苦情は窓口を通じて受け付け、居宅介護支援、居宅サービス支援への意向・要望に沿って、個人情報の保護や秘密を遵守し対応している。 相談は、サービス利用に関することが多く、苦情に関することはなかった。

10. 情報の公開

利用者にわかりやすく、利用しやすいよう「介護サービス情報の公表制度」「ホームページ」、地域包括支援センターからも情報を利用者に提供して頂く等、積極的に情報開示に努めた。

令和4年度 山田中央保育園 事業報告書

令和4年度 山田中央保育園事業報告

園 施 設 の 概 要

施 設 名 山田中央保育園

所 在 地 岩手県下閉伊郡山田町長崎二丁目3番1号

設置・経営主体 社会福祉法人 正受会

開設年月日 昭和54年4月1日

敷 地 面 積 敷地面積 982. 68 m 屋外遊戯場 490. 12 m

建物面積 473.6 ㎡

建物の構造 鉄筋コンクリート造り 2階建て

開 所 時 間 平 日…午前7時~午後7時(延長保育受時間含む)

土曜日…午前7時~午後5時

定 員 55名(乳幼児から就学前児童)

事業内容 ①延長保育(午後6時~午後7時)

②一時保育

③障害児保育

④地域活動事業(異年齡児交流事業·世代間交流事業)

職員体制 園長・主任保育士・保育士・栄養士・調理師

事務主任・その他

嘱 託 医 おおのクリニック 医 師 大野 忠広

黒田歯科医院 歯科医師 黒 田 俊 之

令和4年度 山田中央保育園 事業報告書

事業目的

児童福祉法に基づき、保育を必要とする子どもの最善の利益を考慮した保育支援を 行い、その健全な心身の発達を図ることを目的として推進していく。

保育理念

子どもの人権や主体性を尊重する保育を行うとともに、職員は豊かな愛情を持って 子どもに接し、保護者と共に子どもへの福祉を積極的に進める。

基本方針

保育士は、倫理観に裏付けられた専門的知識・技術・判断をもって子どもを保育するとともに保護者に対する支援を行い、職責を遂行するための専門性の向上に努める。

保育目標

明る元気な子ども	集団生活を生き生きと過ごし、意欲的に活動できるよう、心身共に健康・健全な発育を促していく。
自分のことは自分で出来る 子ども	基本的生活習慣が身につくよう促していく。
考える子ども	思考力の基礎、創造性の芽生えを育んでいく。
心豊かな子ども	思いやりの心、情緒豊かな心を育んでいく。

事業報告

※ 定員50名で運営開始

1. 保育計画

基本方針や目標に基づき、子どもの発達過程を踏まえて、保育の内容が組織的・計画的に展開されるよう全体的な計画を作成し、これに基づく指導計画(マーチングババンド指導等)・保健計画(感染症予防対策等の指導)・食育計画(野菜の栽培、調理体験等)を通じて、養護と教育が一体となった保育を心掛けた。

2. 子育て支援

(1) 保護者が支援を求めている子育ての問題や課題に対して、相談や助言を行い、必要に応じて町等の関係機関やかかりつけ医と連携するなど、個別支援を行った。

途中から生活保護となった家庭の事例が1件あり、通園方法等の変更の必要が生 じる等の相談を受け、町と連携を図りながら保護者の要望に対応した。

- (2) 保護者の就労と子育てを支援するため、保護者の多様化した保育の需要に応じ、 一時保育と延長保育事業を実施した。
- (3) 遠足、運動会などの行事等に保護者が積極的に参加できるよう、保護者の状況に配慮した日時・時間・場所等を考慮しながら計画を立てて行った。

3. 健康支援

- (1) 子どもの心身の状態・健康状態・発育及び発達状態について随時観察を行い保護者に報告、検温や月1回の身体測定により定期的・継続的に把握するよう努めた。
- (2) 子どもの心身の健康状態及び疾病等の把握のため、嘱託医による年2回の内科 診及び歯科検診を実施した。

	内科健診	歯科検診
1回目	令和4年6月1日	令和4年5月18日
2回目	令和4年11月2日	令和4年11月2日

- (3) 保護者の子どもに対し不適切な養育の兆候が見られる場合は、関係機関と連携しながら適切な対応に努めた。また虐待が疑われる家庭が1件あり、速やかに町に通告を行い、その指示等にしたがって対応した。
- (4) 感染症やその他疾病の予防に努め、その発生や疑いがある場合には必要に応じて 嘱託医・町・保健所等と連携を図り、その指示に従うとともに予防等について保護 者に協力を求めて感染拡大の防止を図った。
- (5) アレルギー疾患を有する子どもの保育については、保護者と連携し、医師の診断 に基づいた対応を行っいる。また、食物アレルギーに関しては、栄養士と連携を図 りながら安全な食事の提供に努めている。

4. 食育の推進

- (1) 完全給食に重点を置き実施し、健康な生活の基本としての「食を営む力」の育成を図っている。
- (2) 子どもの健康状態、発育及び発達の状態、栄養状態や生活状況などを把握し、それぞれに応じた栄養量の確保や食品の種類、量、大きさ、固さ、食具等に配慮している。また、家庭からの食に関する相談に応し、助言や支援を行っている。
- (3) 安全で安心できる食事を提供するために、食材料の選定や、保管時・調理後の温度管理の徹底など安全性と衛生に努めている。
- (4) 野菜栽培や収穫及び調理活動等の体験を通して、自然の恵みとしての食材や、食の循環環境への意識、調理する人への感謝の気持ちなどが育まれるよう、食育環境の整備(野菜の栽培・調理等)を行っている。

- (5) 体調不良、食物アレルギー、障害のある子どもなど、一人一人の子どもの心身の 状態に応じ、嘱託医、かかりつけ医等の指示の下で適切に対応している。
- (6) 子どもの食事の様子や食育に関する取り組みとその意味を保護者に伝え、食事のサンプル展示や試食会、レシピや調理方法の情報提供等を通じて家庭でも食育に関心をもっていただけるよう図った。

5. 職員の育成及び人材確保

- (1) 研修や日常の指導において、適切な挨拶・対人マナーを身に付けると共に人間性を磨き、保護者・職員間・外部関係者への接遇に結び付けるよう図っている。
- (2) 保育士は、保育計画や保育の記録を通して自らの保育実践を振り返り、自己評価を行い専門性の向上及び保育の質の向上に努めている。
- (3) 年3回、人事評価及び評価後のフィードバック面接を行い、職員各人に目指すべき姿(役割や取り組み)を方向づけ、施設職員としての期待像に向けた育成を図っている。
- (4) 職員各人のレベルに必要な資格取得・研修受講を推進し、モチベーション向上と 人材のレベルアップを図っているが、コロナ禍のため主に院内研修を行った。
- (5) 新規学卒予定者への求人活動を行うとともに、積極的に即戦力人材の採用も行うなどの確保に努めているが、今年度末に保育士の退職者が一度に臨時も含め3名となったため、慢性的な人材不足の解決には至らなかった。

6. 地域交流

- (1) 小学校との連携
- ① 幼・保・小合同研究会への参加や行事などを通して連携を図っている。
- ② 子どもに関する情報共有に関して、「保育所児童保育要録」を就学先に送付し、子どもに対する理解を助け、その「育ち」を支えるよう図っている。
- (2) 世代間交流

特別養護老人ホーム平安荘やデイサービスセンター、飯岡老人クラブ、小・中・高校生など幅広い世代の人々との交流など地域との連携を図りながら、子どもが豊かな体験を得られるよう取り組んでいる。

7. 情報公開

保護者や地域社会に、広報誌等で保育の内容に関する事項について情報を開示し、 保護者が適切かつ円滑に利用できるように図っている。また、保育の内容等について 自己評価を行い、その結果を常に閲覧できるよう事務室カウンターに備え置いている。

8. 職員の健康管理

	実 施 日
健康診断(予防医学協会)	令和5年3月1日
インフルエンザ予防接種	令和4年10月4・11・18・25日

9. リスクマネジメント活動

- (1) 事故発生防止のための指針やマニュアルを見直し、発病・けが・自己記録、ヒヤリハット報告書を分析しながら、その改善策について職員と考え周知徹底を図った。
- (2) 施設・設備などの安全点検や保育室・園舎・園庭及び固定遊具などについて定期的に点検し、危険個所の修理や撤去を行い事故防止に努めている。
- (3) 安全な保育環境を確保するため、子供の年齢・場所・活動内容に留意した保育をこころがけ事故防止に努めている。

10. 苦情相談

苦情解決責任者・苦情受付担当者を決め、苦情受付から解決までの手続きを明確化し、その内容や一連の経過と結果について書面での記録を残すなど、苦情に対するための体制を整備し、随時受付け速やかに対処するよう努めている。

11. 防災訓練

- (1) 防災計画に基づき、各種別の防災訓練及び通報・消火・避難誘導等の訓練を別紙に記載の通り行った
- (2) 山田消防署の協力の下、総合防災訓練を年1回実施(令和4年10月11日)し、職員の防災意識の高揚を図った。

12. 感染症予防・対策

- (1) 新型コロナウイルス感染症については、その動向に沿った保育園の対策を実施しているが、令和4年1月・2月の2回、コロナウイルス感染症による小規模クラスターが発生したため、感染拡大防止措置として休園措置を実施した。
- (2) 流行の兆しのある感染症の情報を周知し、感染症予防及び対策マニュアルに沿って感染予防に努めた結果、コロナウイルス感染症以外の感染症の発生は0件。

13. 施設管理

- (1) 環境整備
- ① 業務の効率化を図るため、「整理・整頓・清潔」を徹底した。
- ② 職員の業務上の軽減を図るため、法人と連携して設備改善を行っている。

(2) 適正な業務の推進

財務・経理・給与・労務管理・介護給付費の算定等の適正な処理を行っている。

(3) 書類の整備

法律に準じた規程の整備、必要時には就業規則等の規程の一部改訂を行っている。

(4) 備品管理

円滑な業務推進のため、備品及び防災用具等の管理に努めている。

○ 年間年齡別月刊園児数(各月初日現在)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
0 歳児	1	2	3	4	4	4	4	4	4	4	4	4
1~2 歳児	11	12	12	12	12	12	12	12	12	12	11	11
3 歳児	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
4~5 歳児	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22
計	40	42	43	44	44	44	44	44	44	44	43	43

○ 年間行事

〇 年间1		
実施日	行事名	行 事 内 容
R4.4.5	対面式	・新入園児紹介 ・クラス担任紹介 ・新入園児お祝いカードのプレゼント
	∨1 田 √/	・歌「せんせいとおともだち」
4.15	4月誕生会	・誕生児紹介・シアター「チューリップたまごからおめでとう」
7.10	子 万 诞 工 云	・ゲーム「たまごを落とさずとどけよう」・歌「おはながわらった」
5.11	交通安全教室	・交通安全指導隊、宮古警察署員による指導(横断歩道の渡り方・信号機の見
0.11	人起 女王 教主	方・道路の渡り方、踏切の渡り方)・DVD 鑑賞
5.17	5月誕生会	・誕生児紹介 ・シアター「シルエットクイズ」・ゲーム「こいのぼりサーキット」
0.17	O / 1 July 1 Z	・歌「こいのぼり」
6.3	虫歯予防集会	・歯みがき指導・よく噛んで食べる体験(小魚)
0.0	五图 7 的木五	・シアター「太郎君と歯みがき」・歌「はをみがきましょう」
6.15	6 月誕生会	・誕生児紹介 ・シアター「かみなりゴロリンの誕生日」・ゲーム「雨のもと運び」
0.10	0/1WeTA	・歌「雨ふり」
7.7	7月七夕誕生会	・誕生児紹介・シアター「おりひめ星のようふくや」・ゲーム「天の川を完成さ
		せよう」・歌「たなばた」
7.15	プール開き	・お話 プール遊び、水遊びの約束 ・体操 ・水遊び
7.30	夕涼み会	・お店まわり ・年長児八木節発表 ・盆踊り
8.17	8月誕生会	・誕生児紹介・パネルシアター「誰からのプレゼントかな」・歌「スイカの名産
		地」・ゲーム「スイカの中からポケモンゲットだぜ」
9.15	9月誕生会	・誕生児紹介 ・シアター「何がかくれている」・ゲーム「うまく釣れるかな」
10.1	VET A	・歌「とんぼのめがね」
10.1	運動会	・各クラスによる競技、遊戯、マーチングなど
10.13	10 月誕生会	・ペットボトルマジック「トリックオアトリート」 ・ゲーム「トリックオアトリート」 ・歌「おばけなんてないさ」
		・0・1・2歳児、平安荘周辺の探索
10.26	芋ほり遠足	・3 歳以上児、平安荘周辺の採案 ・3 歳以上児、平安荘の畑でさつま芋掘りを楽しむ・お弁当給食(平安荘会議室)
10.31	 焼き芋会	・収穫したさつま芋を園庭で焼いて味わう
		・各クラスの作品を玄関内に展示 テーマ「花祭り」
11.4	作品展	— — — — — — — — — — — — — — — — — — —
11.15	11月誕生会	・誕生児紹介・ペープサート「七五三ってなあに」・歌「七五三おめでとう」
12.3	お遊戯会	・歌、遊戯、合奏、劇あそび、オペレッタなどの表現遊びの発表
12. 21	平安荘クリスマス会	・・平安荘クリスマス会に年長児が参加 ピアニカ演奏「きらきら星」とお話「大きな
		かぶ」を発表
12.23	クリスマス誕生会	・誕生児紹介 ・シアター「もみの木じいさん」・ゲーム「プレゼント運び」
10.05	#1 \\\ - P-=4.1	・歌「あわてんぼうのサンタクロース」
12. 27	勤労感謝	・全園児で制作したカレンダーを地域の方々に配布する
R5.1.12	みずき団子作り	・3~5歳児でみず木団子を作り室内に展示・0~2歳児は、小麦粉を使って団
		子作りを行う。
1.17	1月誕生会	・誕生児紹介 ・シアター「お誕生日ケーキ」 ・おみくじ引き ・歌「たこあげ」

2.3	節分集会	・シアター「せつぶん」・心の鬼退治 ・豆まき ・歌「まめまき」
2.15	2月誕生会	・誕生児紹介 ・シアター「かくれんぼだあれ」・ゲーム「風船はこび」・歌「ゆき」
3.3	ひな祭り誕生会	·誕生児紹介
3.13	お別れお楽しみ会	・シアター「こんなに大きくなったんだ」・お別れの言葉・マーチングの引継ぎ
3.14	お別れ遠足	・青少年の家でのキラキラドーム作り ・グルメハウスシンコーでのお食事会
3.18	卒園式	・卒園証書授与 ・お別れの言葉
3.23	修了式	・進級お祝い ・シアター「思い出のアルバム」・歌「思い出のアルバム」

令和 4 年度 食育活動報告

〇 食育活動

実地日	行事名	活 動 内 容
		・桜ご飯 ・ブロックハンバーグ・サラダ・すまし汁・フルーツポンチ、を味わう。
4.15	4月誕生会	
4.27	食育だより発行	・保育園の給食と食育計画について
4.28	野菜栽培準備	・平安荘の畑を耕す。(年長児7名)
5.17	5月誕生会	・鯉のぼりご飯 ・兜揚げ ・照り焼きチキン ・人参しりしり ・サラダ ・オレンジを味わう
5.31	アンケート実施	・食事に関するアンケートの配布
6.3	虫歯予防集会	・2歳以上児の各クラスで、よく噛んで食べることの体験を行う。(小魚)
6.8	栽培活動	・平安荘の畑にトマト、ブロッコリー、大根の種まき、キュウリ、ナス、ピーマンの苗植 えを行う(年長児 大根グループ)
6.21	梅ジュース作り	・ぶどう組 小澤昇先生から頂いた梅を使い梅ジュース作りに取り組む。
6.15	6月誕生会	・雨傘チャーハン ・鶏唐揚げ ・サラダ ・レタススープ ・ゼリー メロンを味わう
6.17	レタスの調理	・れもん組レタスをちぎる経験
7.7	七夕誕生会	・七タソーメン・鶏甘辛煮 ・フライドポテト ・ブロッコリーチーズ焼き ・カルピスゼリー ・すいかを味わう
7.20	流しソーメン会	・流しそうめんの機械を使ってそうめんを味わう
7.21	野菜の収穫	・りんご組 平安荘の畑に行きナス、ピーマン、大根、キュウリの収穫を経験する
7.26	クッキング	・キュウリをスティック状に切って味わう ・大根を甘酢や塩もみして味わう
7.27	クッキング	・大根を切っておでんにしてあじわう
8.1	かき氷会	・かき氷を味わう
8.8	夕涼み会	・焼きそば、唐揚げ、枝豆、りんごジュース、すいか、かき氷を味わう
8.9	アンケート結果	・食事に関するアンケート結果を家庭に配布
8.17	8月誕生会	・冷やし中華 ・豚肉カリカリ揚げ ・茹でとうもろこし ・フルーツヨーグルトを味わう
8.18	わたあめ会	・1 歳児~3 歳で、 わたあめを味わう
8. 26	わたあめ会	・4,5歳児で、わたあめを味わう
9.2	野菜の収穫	・れもん組平安荘の畑の栽培物ミニトマト・きゅうり・ナス・ピーマンを収穫
9.16	9月誕生会	・二色丼・トンボウインナー・磯部揚げ・ナムル ・きのこのすまし汁・カルピスゼリー・うさぎりんごを味わう
10.12	さつまいもの調理	・茹でさつまいもをマッシュして味わう(0,1歳児)
10.13	10 月誕生会	・ハロウインおむすび ・ブロックハンバーグ ・バンバンジー ・南瓜スープ ・フルーツ盛合せを味わう
10.14	さつまいもの調理	・味噌汁用に調理(2,3 歳児)・スイートポテト作り(4,5 歳児)
10.00	芋ほり遠足	・3歳以上児で平安荘の畑のさつま芋とピーマン、ナスの収穫を体験する
10. 26	野菜の収穫	・給食はお弁当を味わう(チャーハンおにぎり、鶏クラッカー揚げ、ナポリタン、レンコンチップス、オレンジ)
10.27	クッキング	・年長児、大根の皮むき、切る作業を行いおでんにして味わう
11.1	焼き芋会	・さつまいもを洗う、ペーパータオル、アルミホイルで包む作業をする。 ・焼き上がったさつま芋を味わう 4・5 歳児は園庭で給食を食べる
11.4	クッキング	・年中児、さつま芋を洗い、型を抜き茹でて給食で味わう
	おにぎり作り	・お米についてのお話を栄養士から聞く。・米を研ぐ経験を行い、自分たちでおにぎ りを作って食べる。

11.9	クッキング	・4・5 歳児 茹でさといもを使い、コロッケ作りを楽しむ
11.15	七五三誕生会	・炊き込みご飯 ・鶏肉マーマレード ・ツナサラダ ・さつま芋むしあげ ・酸辣湯 ・フルーツ 盛合せ
12. 23	クリスマス誕生会	・型抜きサンド・スパゲティー・チューリップ唐揚げ・ポテト・ホワイトスープ・フルーツポンチを味わう
R5.1.6	七草	・七草のお話を聞く・七草ご飯を味わう
1.12	みず木団子作り	・家族のグループでみず木団子作りを行う ・おやつにてみずき団子を味わう
1. 24	1月誕生会	・ツナ炊き込みご飯 ・松風焼き ・紅白なます ・鮭のつみれ汁 ・フルーツ盛合せを 味わう
2.3	節分集会	・恵方巻 ・焼きししゃも ・スパサラダ ・節分汁 ・バナナを味わう
2.15	2月誕生会	・卵サンド ・照り焼きチキン ・温野菜 ・ミネストローネ ・フルーツ盛合せを味わう
3.3	ひなまつり誕生会	・サラダライス ・マーマレード焼き ・なばなサラダ ・チーズ焼き ・潮汁 ・いちご ・カルピス
3.6	お別れクッキング	・年長児 13 名がパンケーキを作って味わう (・パンケーキ・フルーツ・アイス・ジュース)
3.14	お別れお食事会	・年長児 13 名 グルメハウスシンコーにての食事会を楽しむ(お子様ランチ)

令和 4 年度 会議·研修報告

〇 職員会議

実施日	会議内容
R4.4.1	・4月の行事計画(案)について・保育の年間テーマについて
	・4 月の異年齢児保育、保健計画、食育計画について ・給食について
4.25	・4月行事反省について・5月行事計画(案)について
	・異年齢児保育、保健計画、食育計画について・・給食について・・その他
5.25	・5 月行事反省について ・6 月行事計画(案)について ・担当業務より
	・異年齢児保育、保健計画、食育計画について ・給食について ・その他
6.24	・6 月行事反省について ・7 月行事計画(案)について ・担当業務より
	・異年齢児保育、保健計画、食育計画について ・給食について ・その他
7.25	・7月行事反省について ・8月行事計画(案)について ・担当業務より
	・異年齢児保育、保健計画、食育計画について ・給食について ・その他
8.25	・8月行事反省について・9月行事計画(案)について
	・異年齢児保育、保健計画、食育計画について ・給食について ・その他
9.22	・9 月行事反省について ・10 月行事計画(案)について
	・異年齢児保育、保健計画、食育計画について ・給食について ・その他
10.25	・10 月行事反省について ・11 月行事計画(案)について
	・異年齢児保育、保健計画、食育計画について・給食について・その他
11.25	·11 月行事反省について ·12 月行事計画(案)について
	・異年齢児保育、保健計画、食育計画について・給食について・その他
12.23	・12月行事反省について・1月行事計画(案)について
	・異年齢児保育、保健計画、食育計画について ・給食について ・その他
R5.1.25	・1月行事反省について・2月行事計画(案)について
	・異年齢児保育、保健計画、食育計画について・給食について・その他
	・2月、3月の行事反省について・給食について その他
3.30	・新年度事業計画について ・新入園児について ・その他

○ ケース討議

実施日	内容
R4.4.28	・4月の評価、反省・課題について
5.31	・5月の評価、反省・課題について
6.21	・6月の評価、反省・課題について
7.28	・7月の評価、反省・課題について
8.30	・8月の評価、反省・課題について
9.28	・9月の評価、反省・課題について
10.27	・10月の評価、反省・課題について
11.29	・11 月の評価、反省・課題について
12.27	・12月の評価、反省・課題について
R5.1.30	・1月の評価、反省・課題について
2.27	・2月の評価、反省・課題について
3.28	・3月の評価、反省・課題について

〇 園内研修

実地日	内。容
R4.4.12	・マーチング研修(講師依頼)
4.21	・保育のアセスメント 危機管理マニュアルの理解(子どもの病気・アレルギー・発達について) ・食物アレルギー対応 ・子どもの見落とし等防止について
5.24	・幼児期までに育って欲しい姿(支援者支援に向けた子どもの姿)
6.9	・発達障がい児等に携わる保育士等の支援について(行動観察・ミーティング)
6.20	・保育者の自己評価(保護者支援)
7.11	・マーチング研修(講師依頼)
8.19	・幼児期の終わりまでに育って欲しい姿②
9.5	・マーチング研修(講師依頼)
10.11	·消火訓練(消防署依頼)
10.11	·心肺蘇生法·AED 講習(消防署依頼)
11. 29	・保育者の資質向上 保育者の虐待防止について
12.6	・CAP 研修(職員ワークショップ)
12.21	・児童虐待について
1.9~	・保育士等の自己評価(個人~グループ)
1.27	·自己評価(園全体)
2.14	・マーチング研修(講師依頼)
3.30	・来年度の事業計画について

〇 外部講師の指導状況

実施日	指 導 内 容	講師氏名	指導回数
R4.4.12	マーチング指導 年長・年中児 基本動作	日本総合音楽研究	年4回
7.11	マーチング指導 鼓隊演奏、カラーガード動作	·講師:泉	
9.5	マーチング指導		
2.6	マーチング指導 年中・年少児		
R4.5.11	交通安全教室	交通安全指導員	年1回
R4.10.11	心肺蘇生法・AEDを使用した救急救命講習	山田消防署	年1回
R4.10.11	消火訓練 水消火器を使っての訓練	山田消防署	年1回
R4.12.9	不審者侵入訓練	山田交番·宮古生活安全課	年1回
R4.5.27	支援者研修	岩手県立宮古恵風支援学校	年1回
R4.12.6	CAP プログラム ・子ども、教職員ワークショップ	CAPリアス	年1回
R4.12.7	・子どもワークショップ		(3日間)
R4.12.8	・子どもワークショップ		

〇 事業実績

実施日	交流団体·施設名	実施場所	具体的な取り組み
5.18	平安荘入所者	特別養護老人ホーム平安荘	観桜会 年長児遊戯披露
6.1	平安荘入所者	特別養護老人ホーム平安荘	平安荘開所式 年長児 マーチング披露
9.15	平安荘入所者	特別養護老人ホーム平安荘	平安荘敬老会 年長・年中児 マーチング披露
9.17	地域一般	お祭り広場(中央公園)	山田秋祭り参加 年長・年中児 マーチング披露
10.26	平安荘入所者	特別養護老人ホーム平安荘	芋ほり遠足、さつま芋掘り
12.27	地域一般	山田中央保育園	勤労感謝の日カレンダー配布
12.24	平安荘入所者	特別養護老人ホーム平安荘	クリスマス会 歌の披露
R5.3.20	平安荘入所者	特別養護老人ホーム平安荘	お別れ会 年長児 感謝の言葉、プレゼント 歌

○ 防災訓練

実施日	想 定	内 容	
R4.4.8	お 避難経路の確認 9:40	・避難訓練についてのお話を聞く。・防災頭巾のかぶり方についての指導。・山田小学校までの避難経路を歩いて確認する。	
5.10	地 震 (津波注意報) 10:00	・地震が発生したことを放送で知らせる。・防災頭巾を被る。 ・保育士の指示に従い、安全な場所に集まる。 ・山田小学校まで避難する。・人数確認後報告。	
6.10	園内火災 (給食室) 10:00	・給食室から出火したことを想定して放送で知らせる。 ・以上児は非常階段を通り、未満児は芝生を通って門前に避難する。 ・園内最終の確認をする。・門前での人数確認し駐車場に避難し、人数確認 後報告。	
7.9	地 震 14:30	・午睡時、地震(震度 3)が起きたことを想定し放送で知らせる。 ・子どもたちを安全な場所に集め、防災頭巾を被せる。 ・窓やドアを解放し、避難経路を確保する。園庭に避難する。 ・人数確認後報告。	

0.10	\~ H□±11 1	エ加ラパ しょとはよしょう チャルチ 担力 アナルメントロンコン	
		・西側アパートから出火したことを想定して放送で知らせる。	
	(園舎西側)	・未満児は人口芝から、以上児は玄関から門前に避難をする。	
	9:00	・園内最終の確認をする。・人数確認後報告をする。	
9.9 水害·土砂災害		・暴風雨、台風により、水害・土砂災害警報が発令されたことを放送で周知。	
	(2 階保育室)	・保育室の窓やカーテンを閉める。	
	10:00	・以上児は1階及2階の安全な場所に集め、未満児は2階保育室に集める。	
	10.00	·人数確認後状況報告。	
10.11		・消防署立ち合いの訓練	
		・給食室より出火したことを想定し肉声で知らせる。	
	総合避難訓練	・火災発生を放送で知らせる。	
	園内火災	・未満児は芝生から、以上児は非常階段から門前に避難する。	
	(給食室)	・園内最終の確認をする。・人数確認後状況報告。	
		・駐車場に避難する。・道路の歩き方に注意する。	
		・駐車場で人数確認後報告。・消防士からのお話を聞く。	
11.10		・地震が起きたことを想定して放送で知らせる。	
	地 震	・子どもたち安全な場所に集め、防災頭巾を被せる。	
	(津波警報)	・窓やドアを解放し、避難経路を確保する。	
	10:00	・津波警報発令を想定し、山田小学校まで避難する。	
		·山田小学校到着後、人数確認、状況報告。	
12.9		・警察署立ち合いの訓練	
12.0		- 園舎付近にいる侵入者を発見する。 ·園長に報告する。	
	不審者侵入時	・警察者に通報する。・園長、複数の職員で不審者の対応をする。	
	対応訓練	・職員は子どもたちを安全な場所に避難させる。	
	10:00	・警察官が到着し、不審者を確保する。	
		- 人数確認をする。・「いかのおすし一人前」のお話を聞く。	
R5.1.6		・園庭での遊び中に2階保育室から出火したことを想定して肉声や放送で知	
1.0.1.0		らせる。	
	園内火災	・見定る。 ・園庭にいる子どもたちを門前に誘導し駐車場に避難する。	
	(2 階保育室)	・未満児は芝生から出て駐車場へ避難する。	
	10:00	・人数確認状況報告をする。	
		- ・子ども達に「おかしも」の約束を知らせる。	
2.10		・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
2.10		- ・園音未開的近が久事になりたことを放送で伝える。 - ・子ども達に静かに放送を聞いて保育士の指示に従うように声をかける。ま	
		・・テとも達に前がに放送を聞いて保育工の指がに促りように声をがりる。よ た、子ども達が怖がらないように言葉をかけ落ち着いて避難できるように	
	遠距離火災	た、すども達が忡がらないように言葉をがけ落ら有いて避難できるように する。	
	医 尼州八火	9°0。 ・窓や入口の戸は閉め煙が入るのを防ぐ。	
	10:00	・	
	10.00	- ・以上児は2階保育室に乗まり付機する。 - ・未満児は保育士の側に集まるようにする。	
		・・不満元は休月エグ側に来まるようにする。 ・・子ども達の人数確認後報告する。	
		- ・于とも達の人数帷祕複報音 9 る。 - ・火災が鎮火したことを子ども達に知らせる。	
2.0			
3.9		・事務室より火災が発生したことを大声で知らせる。 - パラ宮の1リロ空を関め、煙が12のを防ぐ	
		・保育室の入り口窓を閉め、煙が入るのを防ぐ。	
		・子ども達に怖がらないように声をかけ、保育士の所に集まり、「おかし」の約	
東を守り避難する。			
	10:00	・1階保育室にいる子ども達は芝生から避難、2階にいる子ども達は非常階段	
		から降りて避難する。	
		・門前で人数確認、状況報告を行う。	
		・暖房器具からの火災を想定した消火訓練を行う。	

○ 職員の外部研修会等への参加状況

開催日	研 修・会 議 名	場 所	出席数
4.22	岩手県立療育センター発達支援研修会 講座2(そだち)		1
4.27	岩手県立療育センター発達支援研修会 講座 1(ことば)		1
5.25	山田町幼・保・こ・小協議会 総会		1
6.21	山田中央保育園保護者会第1回役員会	山田町	2
6.29	山田町保育施設協議会第1回役員会	山田町	1
11.24	山田町育ちの相談会		1
11.28	山田町幼・保・小・こ協議会(校長・園長・所長との懇談会)		1
R5.1.27	山田町保育施設協議会第 2 回役員会	山田町	1
2.15	第2回幼・保・小・こ協議会役員会	山田町	1
3.22	令和5年度新入児童に関する引継ぎ	山田町	1
3.31	山田中央保育園保護者会第2回役員会	山田町	2

○ 保育研修生、職場体験、ボランティア等の受け入れ状況

期間	日 数	学 校 名 等	内 容	人数
R4.5•9~20	10 日間	宮城県 尚絅学院大学	保育所実習 I	1
8.15~26	10 日間	宮城県 尚絅学院大学	保育所実習 II	1
9.27~30	4 日間	岩手県立山田高等学校	職場体験研修	1